

第十四回 衆議院産業組合法案審查特別委員會速記録

(第一號)

明治三十三年二月十三日(火曜)午前十時五十二分開議

○委員長(鹽田忠左衛門君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、此案ハ隨分大切ナ案ト思ヒマスカラ、御質問ノアル方ハ十分ニ御質問ニナラムコトヲ望ミマス

○(木村哲太郎君) 政府委員カラ大體ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(和田彦次郎君) 本案ヲ提出シマシタ趣意ハ、本會ニ出マシタ場合ニ、十分説明ヲ致ス譯デゴザイマシタガ、其當時私モ列席シテ居リマセヌ

デ、速記録ヲ見マスルト會期モ切迫シテ居ル際デアラカラ、直チニ委員ニ付託シテ十分ニ調査セシムルト云フ意味デ、委員ノ選舉ニ移ラレタヤウニ考ヘマス、茲デ大體ノコトヲ御説明致シマスガ、本案ハ御承知ノ通り、我國現狀ニ於キマシテ必要ナリト云フコトハ、數年前ヨリ民間及當局者ニ於テ認メテ

居リマシタコトデ、再三當局者ニ於テハ本法ノ案ヲ起シマシタガ、時期到達致シマセヌタメニ、今日ニ延引致シテ居リタノデゴザイマス、此趣意ト申シマスハ、我國ノ農家工業家一般ノ事情ニ照シマスノニ、中産以上ノ財産アル人々ノ事業ニ於テハ、資本ノ供給ニ不便ヲ感ジマセヌガ、中産以下ニ於テハ

資本ノ供給ニ不便ヲ來シテ居ルガタメニ、十分ノ意思ガアリナガラ、其事業ノ發達ヲ見ルコトガ出來ヌト云フ今日ノ有様デゴザイマス、歐羅巴各國ノ例ヲ取調ベテ見マスルト、獨乙ノ今日農業工業ノ發達致シタノモ、或ハ英吉利

ノ今日盛大ヲ來シテ居ルノモ、與ッテ此組合法ヲ實行致シマシタカラデアリマス、二三年前ノ統計ニヨリマスレバ、獨乙ニハ中産以下ノ農業工業家ノ運用致シテ居リマス基本金ト申スベキモノハ、日本ノ金ニ換算致シマシ

テ拾四億圓ノ多キニ及ンデ居リマス、英國ハ其後ニ於テ獨乙ノ模様ヲ見テ、專ラ是ニ倣ヒ事業ヲ起シツ、アル實況デアリマス、日本ニ於テモ日本ノ事情ニ適當シテ居ル所ノ本案ヲ出シテ、是非此等ノ例ニ倣フテ、中産以下ノ基本

金ヲ信用組合ニ依テ積立テシメ、且其運用ニ依テ、利子ノ安キ資本ヲ得ル道ヲ講シサセタイ、又販賣組合ニ付イテハ現時日本ノ農産物工業品ニ於キマシテ、

隨分見ルベキモノガアリマスケレドモ、品ノ一定ヲ期スルコトガ出來ズ、其額モ大イナル需用ニ應ズルコトガ出來ナイガタメニ、値ガアリナガラ其値ヲ減シテ賣買致シテ居ルト云フヤウナ有様デゴザイマス、且個々ニ致シマスル

ガタメニ、大ナル額ヲ求ムル品ニ付イテハ、ツレ等ノ需用ニ應ジ難キ憂モアル、又購買組合ニ於テハ御承知ノ通り、民間ニ農家工業家ニ必要ナル物ヲ求

メマスコトハ、往々鉅萬ノ額ニ達スルモノモアリマスケレドモ、ツレヲ個々ニ買フタメニ一定ノ善良ナル品ヲ求ムルコトガ出來ナイ、且ツ値ガ自然高キニ

至ルモノガ實際ニ於テアリマス、依テ是等ニハ組合ヲ設立シテ、保險ノ附イタル善良ナル品ヲ、個々ニ僅ツ、買フヨリモ、纏メテ安く買入レテ中産以下

ノ者、即チ組合員ニ分ケテ便利ヲ得セシムル方法ヲ取ルノハ、今日必要デア

ル、ツレガ購買組合ト云フノデアリマス、又生産組合ト云フノハ例ヘテ申セ

バ、繭ノ乾燥ノ如キハ皆ナ必要ヲ認メテ居ル、然ルニ善良ナル機械ニ依ッテ十分ナル乾燥ヲヤリタイト云フコトハ、熱望致シテ居リナガラ、個々ニ完全ナ

モノヲ爲サントスルニモ、資本ヲ要スルノデアアル、而シテ其資本ハ隨分高利ナル資本ニ當ルガタメニ、熱望シテ居リナガラモ是ヲ實行スルコトガ出來ヌ

ト云フ有様デアリマス、是ニ付イテハ組合員共同致シテ資本ヲ合シ、若クハ農

工銀行ナドノ融通ヲ以テ其機械ヲ求メ、共同ノ力ヲ以テ之ニ加工シ生産力ヲ

發達セシムルコトハ、今日ノ最モ必要ナルコトデアリマス、此四ツノ組合ト

云フモノハ、現今ノ場合ニ於テ急務デアルト云フコトヲ認メマシタガ故ニ、

此四ツノ組合ニ對スル所ノ法規ヲ——本法ニ設ケタ趣意デアリマス、要スル

ニ産業者ハ希望シ熱望シテ居リナガラ、事業ヲ起スコトガ出來ナイ、是等ニ

向ッテ利子ノ安キモノヲ供給シテ、十分生産ヲ發達セシメタイト云フ趣意デ

提出シタノデアリマス、現在ノ農工上ノ發達ヲ期スルガタメニハ、色々機關

モ出來テ居リマス、勸業銀行農工銀行ノ如キモ規則ガアツテ、民間組合

ニ對シ法律ノ保障シタ組合デゴザイマセヌガタメニ、其融通ヲ爲サント欲

シテモ出來難イト云フコトニナツテ居リマス、故ニ法律ノ保障スル組合ヲ

起シテ、資本ノ供給機關トシタナラバ、農工銀行勸業銀行ヲ設ケタ趣意ニモ

叶ヒ、實際ニ於テ農工上ノ發達上、大ナル利益ガアルト云フ點ヨリシテ、此

案ヲ提出致シタ譯デゴザイマス、詳細ノ事ニ至ッテハ尙御質問ノゴザイマシタ

節申上グルコトニ致シマス

○(加藤六藏君) 政府委員ニ御問ヒテ致シマスルガ、第一條ノ第五項「前各號ニ掲ケタル事業ノ外勅令ヲ以テ指定シタル事業ヲ爲スコト」此勅令ヲ以テ指定シタル事業ト云フモノハ、ドウシタモノデアルカ、ツレヲ承リタイ、其次ニ「前項第一號ニ掲ゲタル事業ハ他ノ各號ニ掲ゲタル事業ト相兼ヌルコトヲ得

ス」是ハナゼ兼ヌルコトヲ得ズトシタノデアアルカ、唯今述べラレタ如ク一ツ利益ガアレバ規則ヲ劃然トシテ入組マセウニシテアレバ、二ツ兼ネテモ差支ナイノミナラズ、各利益ガアレバ、二ツ兼ヌレバ尙利益ガアル譯デアリマス、ナゼ是ハ斯ウ云フコトヲ擧ゲタノカ、此二點ニ付イテ伺ヒタイ

○政府委員(和田彦次郎君) 前各號ニ掲ゲタル所ノ四ツノ組合ナノデアリマス、モ必要ト見マスルノガ、前各項ニ掲ゲタル所ノ四ツノ組合ナノデアリマス、併シ此四ツノ組合ダケヲ以テ將來他ノ組合ト云フモノハ、本法ニ依ッテ設立セシムルノ必要ナキヤト申シマスルト、將來此法ニ依ッテ四ツノ組合ノ如ク他ノ組合ヲ設クル必要ガ生ジテ來ルカモ知レマセヌ、茲ニ一ノ例ヲ擧ゲテ見マスレバ、土工組合ノ如キ、除害組合ノ如キ、建築組合ノ如キ、此際前項ト同

カラ、先ツ必要ナル急務ナルモノヲ施行シテ、其結果ヲ見テ更ニ他ノ組合ノ必要ガアルナラバ設ケ得ルト云フ、餘地ヲ茲ニ設ケテ置イタ方ガ宜カラウト云フ趣意ヨリシテ、茲ニ五項ヲ設ケマシタノデアリマス、サウシテ前項第一號ニ掲ゲタル事業ハ、他ノ各號ニ掲ゲタル事業ト相兼ヌルコトヲ得ズト云フ、五項ノ次ノ行ニゴザイマス事柄ハ、信用組合デゴザイマス、金銭ノ扱ヲ專ラ致シマス、貯蓄的金銭ヲ預リ或ハ資金ノ持分ト云フモノヲ基本ニ致シテ、運轉ヲ致シマスルノデゴザイマス、故ニソレト販賣組合トカ購買組合トカ云フモノト兼ネサセルト云フコトニナリマス、自然金ヲ扱フ方ト品ヲ扱フ方トヲ入レ案ルノ恐ガアリマス、先刻本會ノ開ケマス前ニ御話モアリマシタガ、例ヘバ銀行業ナラ銀行ヲシナガラ、他ノ事業ヲ兼ネテモ宜イデハナイカト云フコトハ、一應御尤デゴザイマスケレドモ、信用上其資本ノ運轉ヲ主トスル所ノモノガ、他ノ業ヲ兼ヌルハ信用ニ影響ヲ及ボスト云フヤウナコトガゴザイマシテハ、憂フベキコトデゴザイマスカラ、其弊ヲ慮ツテ兼ネルコトヲ得ズト云フ項ヲ置キマシタノデアリマス

○(加藤六藏君) 尙續イテ御尋ネ致シマスルガ、サウスルト「勅令ヲ以テ指定シタル事業ヲ爲スコト」ト云ヒマスルト云フト、總テ是マデノ慣例ヲ見ルト、一ノ法案ガ出テツレニ從ツテ勅令ガ出テ、所謂細則ノ如キモノヲ極メマス

ルノガ慣例ニナツテ居ル、此勅令ト云フノハサウ云フ意味デナク、今ハ氣ガ著カナイ初メカラ先ツ試シニ是ダケヤツテ足ルガ、將來考ヘテ見テ尙必要ガアツタ折ニハ、追々勅令ヲ以テ爲スト云フ意味ガ、或ハ先ツ此法案ハ取敢ズ斯ウ出スケレドモ、之ヲ發布スルマデニハ通過スルトシテモ四月カ五月デア、ソレマデニ考ヘテ施行細則ノ折ニスルト云フ意味デアルカ、其點ニ付イテ伺ヒタイ、私ノ考デ見レバ此四月カ五月マデニ御考ヘニナレバ宜シイガ、將來追々御考ト云フナラバ、其折ニ此産業組合法ト云フモノヲ改正シナケレバナラヌ、サウ云フコトハドウモ宜シクナイ、是マデ政府ニ往々サウ云フコトガアルヤウニ私ハ思フ、或ハ施行細則ノ中ニアルベキモノガ法律案ノ簡條中ニモアレバ、法律案中ニモ随分細則ガ難ツテ居ルト云フヤウナコトガアツテ、誠ニ不整ヒノ感ヲ私ハ常ニ抱イテ居ル、ソレデアアルカラ尙念ノタメニ伺ヒタイ

○政府委員(和田彦次郎君) 本法ノ施行期日ヲ假リニ四月ト致シマシタ所ガ、四月マデニ此本案ノ外ニ尙ホ必要ヲ認メテ勅令定ムル他ノ組合ガアルカト云フコトモ、一ツノ御問デゴザイマシタガ、サウ云フ考ハ今日ノ所デハ當局者ハ持ツテ居リマセヌ、又施行期日ヲ四月トシマシテ、四月マデニ此外ニ加ヘル位ノモノガゴザイマスレバ、本法ニ無論掲ゲマスル、ソレデ是ハ此組合法ヲ施行致シマシテ、數年後其效果ヲ十分見マシテ、更ニ是非加ヘテヤリタイト云フ必要ノ組合ヲ認メマシタ場合ニ於テ、本法ノ改正ヲ要セズシテ容易ニ出來得ルノ規定ヲ茲ニ設ケマシタノデアリマス、ソレデサウ云フ例ハ御承知ノ通り他ノ法律ニモ隨分ゴザイマスノデ、其度毎ニ改正セズシテ、必

要ヲ認メタ場合ニハ本項ヲ適用シテ、サウシテ他ノ必要ナル組合ヲ加フト云フコトニ致シタイト云フ趣意デ、是ヲ掲ゲマシタ

○(加藤六藏君) サウ致シマス、斯ウ云フコトニナルノデゴザイカ、四ツ舉ゲテアル信用トカ、販賣トカ、購買トカ、生産トカ——今政府委員ノ御說デ見レバ信用ト云フ一箇條舉ゲテ置イテ、アトハ五項デ皆引括メテツレヘ入レテモ宜イ譯ニナル、サウスルト云フト詰リ法律トスベキ、即チ此處デ議スベキモノヲ議サズニ置イテ、所謂勅令デ出來ルヤウナ場合ニナル、サウスルト私ガ前ニ申シマシタ如ク、法律トシテスベキモノヲ勅令デヤルト云フコトニナル、自ラ法律トスベキモノト勅令トスベキモノハ事柄ガ違ツテ居ル、ソレカラ先ヲ申シマス議論ニナリマスカラ申シマセヌガ、ドウモ甚ダ宜シクナイコト、考ヘル——ドウモ唯今政府委員ノ御答ハ法律デスベキモノヲ、將來勅令デ氣付イタ後ニ、二年デモ三年デモ經ツタ後ニシヤウト云フノハ宜シクナイ、此帝國議會が開ケテ今日立憲政體ノ今日、サウ云フコトヲスルト云フノハ宜シクナイ、併シツレハ議論ニ渡リマスカラ、此後ニ其事ヲ述ベルコトニ致シマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) チヨット私ハ失念致シマシタガ、大體ノ御尋ハモウアリマセヌカ、ソレガナケレバ條ヲ逐フテ……

○(中村廣太郎君) 私ハ大體ニ付イテ御尋致シマス、私ハ本案ヲ審査スルニ先ダチマシテ、大體ニ付イテ一應伺ツテ置キマス申シマスルノハ、唯今政府委員ヨリ此本案ヲ起シタル理由トシテ、海外ノ此信用組合ヲ以テカラニ國ノ發達ヲ助ケタ云フコトノ例ヲ引カレマシタガ、私共ガ此本案ヲ受取りマシテカラ以來少シク調べマシタノデ、海外ニ於キマシテ獨逸ナリ英國ナリ、信用組合ニ依ツテ大ニ國ノ發達ヲ助ケタコトガゴザイマスルヤウニゴザイマスガ、是ハ又政府委員ヨリシテ其御話モゴザイマシタ、併シ獨逸ニ於テハ餘程産業組合信用組合ニ依ツテ發達ヲ助ケテ居ルコトハ事實デア、併シ英國ニ於テ布キマシタ時分ニ、一時ハ大ニ發達ヲ助ケマシタナレドモ、又其後ニ至ツテ大ニ此産業組合ナルモノニ對シテ失敗ヲシテ、非常ニツレガタメニ苦シクダト云フコトモ聽イテ居ル、又就イテハ此參考トシテ御廻シニナツテ居ル、各國産業組合ノ統計表ニ依ツテ見マシテモ、獨逸ノ如キハ餘程澤山ノ組合ガ出來テ居ルガ、英國ノ方ヲ見マスレバ、此農産的ノ組合トカ、信用組合ニ付イテハ獨逸邊リヨリシテハ、誠ニ些々タル統計ニナツテ居ルヤウニ見受ケマシタガ、果シテ英國ガ斯様ナ組合法ニ依ツテ大變ナ失敗ヲシタト云フコトノ事實デアレバ、ドウ云フ點ヨリシテカラニ是ハ失敗シタデアラウカ、又サウ云フヤウナ事實ガナイコトデアルカ、是等ニ付イテ多少御調ニナツテ居ルコトデアラウト思ヒマスカラ、御調ニナツテ居ルコトナラバ、此際失敗ノ原因或ハサウ云フコトガナイト云フコトカ、之ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス

付キマシテノ、目今著名ナル地方ノコトハ之ニ記シテゴザイマス、而シテ
獨逸ノ國ヨリ英國ノ方ガ數ガ少ナイト云フ御話デゴザイマスガ、實際少ナイ
ノデゴザイマス、此組合法ノ歐洲ニ率先シテ起リマシタノハ獨逸デゴザイ
シテ、獨逸ガ一番率先シテ起シテ、其効果ヲ擧ゲタ、其獨逸ノ例ヲ見テ英吉
利モ近來ニ至ッテ振ヒ起リツツアルト云フ實況ノヤウニ調査ノ上デ認メテ居
リマス、從ッテ數モ少ナフゴザイマス、併シ英國ニ於テ近年産業組合信用組
合ヲ組織シタガタメニ非常ナ失敗ヲナシタ、農工上ニ大ナル害ヲ來シタト云
フコトハ聽キマセヌ

○(原田越城君) 政府委員ノ説明デ、本案ノ今日必要ナルコトハ能ク了解致
シマシタ、私ノ案シマスルノハマダ能ク見マセヌカラ見タ以上ハ分ルカ知リ
マセヌガ、第一條ノ第一ニアル信用組合、又第二ノ販賣組合、第三ノ購買組合、
斯ウ云フヤウナモノデアリマスルガ、此本案ヲ提出シタ理由書ニ依ッテ見マ
スト、中産以下ノ者ニ低利ナ金ヲ貸付ケル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデ
アリマス、私ノ案シマスルノハ中産以下ノ者ガ、是ハ組合ッテ集ッテ此組合
ヲ組織スルモノデアラウト思ハレル、果シテ中産以下ノ者ガ集ッテ此組合ヲ組
織シタナラバ、第一條第一項ノ信用組合ノ如キ低利ナ金ヲ其組合員ニ貸付ケ
ルト云フノハ、ヤハリ中産以下ノ者ノ株金トシテ持出シタモノ、中カラ、其
組合員ニ貸付ケルノデアアルカ、果シテサウナラバ元來中産デ資産ノ多クナイ
者デアアルカラ、多クナイ者ガ低利ナ金ヲ貸シテ、組合ノ利益トナルコトガ
アラウカト云フ疑ガアルノデゴザイマス、マダ能ク見マセヌデスガ、昨日出
タ議案ノ農工銀行法ニ何カノ改正ガアッテ、信用組合ノ完全ナ組織ノモノニ
向ッテハ、貸付ケルコトヲ得ルトカナスト云フコトガアッテヤウニ臆ロ
ニ心得テ居ル、果シテツレガ此組合ノ成ツタ以上ハ、農工銀行カラ之ニ貸付
ケルト致シマシタ所ガ、農工銀行ガ此組合ヲ信用シテ、組合ニ低利ナ金ヲ貸
付ケ得ルモノデアアルカナイカ、是モ一ノ疑問デアアル、ツレカラ販賣組合、是
モ組合デ販賣ヲスレバ利益アルコトハ明カナコトデアアルガ、其利益ナコトハ
何人モ認メナガラ、今日其組合ノ成立タヌト云ノモノハ、元ト資産ノナイ者
デアアルカラ、漁獲物ナリ或ハ其他ノ生産物ナリ出來次第ニ金ニ換ヘテ、生活
ノ資ニ供セナケレバナラヌモノデアアルデス、ツレヲ組合ニ出シテ販賣ヲ致シ
マスルト、其生産物ナリ漁獲物ノ如キ販賣スル時ヲ暫ク延バサナケレバナラ
ヌ、一方生活ノ資ヲ求ムルニ急ナルモノガ、其販賣價格ヲ得ルマデ猶豫シ得
ラレルコトノ經濟ニ餘裕アルモノデナイ、サウ云フトキニハ如何ナルコトニ
ナルノデアアルカ、段々御調ノナニヲ見マスルト、是迄澤山ナ組合ガアリマス
ヤウデアアリマスカラ、其組合ニ於テ唯今申述ベタ如キ場合ニ、巧ミニ運用
シ得ラレテ居ルト云フ事實ガアレバ、其事實ヲ承リタイノデス、要スルニ是
等ノコトハ結構ナコトデアアルケレドモ、實施上望ミノ如キ結果ヲ得ラレヌ恐
レハアリハセヌカ、斯ウ思ヒマスルデア御尋ネテ致シマシタ

タ通り本案ヲ提出シマシタ所ノ重ナル理由ハ、中産以下ノ産業者ヲシテ、低利
ナ資本ヲ供給セシムルト云フコトガ趣意ニナリマスノデゴザイマス、併セテ勤
儉貯蓄ノ美風ヲ養成シタイト云フコトモ、本案ヲ提出致シマシタ所ノ趣意デ
ゴザイマス、而シテ中産以下ノ者ハ資本ハ無論ナイモノデゴザイマスカラ、是
等ニ向ッテ資本ノ供給ヲナスニハ、中産以下ノ者ガ積立ッテ持分ノ金ダケヲ
貸スカト云フ御話デゴザイマシタガ、ツレハ十分鞏固ニ此法律ニ依ッテ組織
致シタモノニハ、一方ニ先刻御話ノ如ク農工銀行等ヨリ融通ノ道ヲ開キマ
シテ金融ノ便ヲ與ヘタイト云フ考デゴザイマスルノデ、現ニ農工銀行法ノ改
正案モ出テ居リマス、未ダ是ハ通過ハ致シマセヌケレドモ、當局者ノ考ハ併セ
通シテ其運用ヲ計リタイ趣意デゴザイマス、又販賣組合ノ場合ヲ御話デゴザ
イマシタガ、如何サマ中産以下ノ者ガ漁獲物ナリ若クハ農産品ヲ賣リマス
キニハ、直ニ金ニ換ヘテ銘々ノ衣食住ニ充テネバナラヌト云フコトハ、認メ
テ居リマス、ツレ等ニ付キマシテハ可成信用組合ニ於テ資本ヲ積立テマシタ
所ノ資本金ニ依リテ運用ヲシ、且ツ組合ガ信用ヲ得ル度合ニマデ達シマシタ
ラバ、農工銀行等ヨリモ其融通ヲ得テカラニ便利ヲ得セシメタイト云フ考デ
ゴザイマス、ツレカラ實例ハドウ云フコトガアルカト云フ御話デゴザイマス
ガ、静岡縣下地方ナドニ於テ參考書トシテ出シテ置キマシタ、報徳社ノモ
ノガ澤山ゴザイマス、是等ハ殆ド法律ニ當嵌メテ申シマスレバ信用組合ニ屬
シタモノデゴザイマス、隨分内地ニ於テ報徳社風ノ積金ヲシタ、資本ノ運轉ニ
依テ、産業ノ利益ヲ爲シテ居リマスノハ澤山アリマス、其用ヒ方ハ或ハ肥料
ノ買入レニモ用井テ居リ、或ハ開墾事業ノヤウナモノニモ用井テ居リマス、
今日デハ區々マチノニナッテ居リマスガ、免ニ角資本ヲ積ンデ産業ノ資本
ニ運用シテ、利益ヲ得テ居ルト云フコトハ現在ノ所澤山アリマス

○(原田越城君) 報徳社ノ如キモノハ是ハ勤儉貯蓄ノ趣意デ、勿論起ッテ居
ルモノデ是ハ出來ラデアラウト思ハレルノデス、多少ノ餘金ノアルノヲ儲蓄
シテ、サウシテ小ナル銀行ノヤウナ貸付ヲ致シマスノデゴザイマスカラ、是ハ
出來マセウガ、例ヘバ此信用組合ニ致シマシテモ、其組合員中ニ百圓ノ資産ホ
カ無イモノモアル、百圓ノ資産ホカ無イモノガ、或ハ事業ヲ思立ッテ百圓ノ
資金ガ必要ガアル、斯ウ云フ場合ニハ貳百圓ノ金ヲ貸與ヘルモノハナカラウ
ト思フ、サウスルト百圓ノ資産ヲ持ッテ居ルモノハ、百圓ダケノ金ノ働キホ
ガ出來ナイ、ソコガ信用デアアルカラ、百圓ノ資産ノ者ニデモ百五十圓モ貸付
ケル、斯ウ云フヤウナコトハ例ヘバ組合ナシト雖モ、其人ノ信用ニ屬スルノ
デアアル、私ノ疑フノハ此信用組合ガ例ヘバ千圓ノ資産ガアル、千圓ノ資産ガ
アル其時ニ千圓以上ノ金ガナケレバ一ノ思立ッタ有益ナ事業ガ出來ナイ、斯ウ
云フ場合ニ例ヘバ法律ヲ如何ニ定メラレテモ、農工銀行ガ其組合ノ資産以上
ノモノヲ貸與ヘルコトヲスルデアラウカ、セヌデアラウカ、斯ウ云フノデ

○政府委員(和田彦次郎君) 無論組合ガ資産額以上ノ金ヲ求ムルト云フコト

ハ期シ難イト考ヘマス、併シ組合ノ資産ダケハ鞏固ノ組合ガ出来マシテ、充
分ニ運轉致シマシタラバ、千圓ノ資本ニ對シテ千圓借得ルコトハ出来ル、
サウスルト壹圓ノ資本ヲ以テ貳圓ノ働ヲナスコト云フコトハ容易ニ出来ルデ
ゴザイマス、千圓ノモノヲ以テ五千圓ノ働ト云フコトハ、此法ノ上デ必ズ出来
ルト云フコトハ斷言シ兼テマス

○(平岡萬次郎君) 唯今ノ政府委員ノ御答辯ハチヨット私聽漏シマシタガ、
勸業ト關係シテノ御答デゴザイマス、勸業銀行カラソレマデヨリ貸サヌト
云フ限度ノ御答デゴザイマス、一般ニ付イテ...

○政府委員(和田彦次郎君) 一般ニ付イテツレダケノ信用ガ確實ナラバ、ツ
レダケノ金ノ運轉ハ出来ルモノデアアルト云フ意味デ答ヘタノデアリマス...

○(平岡萬次郎君) ツレハ疑デスカラシテ御質シ致シタイデスガ、壹圓ノ金
ガアレバ壹圓ヨリ借レヌト限ツタコトハナカラウト私共ハ信ズルノデアリマ
スガ、例ヘバ此處デ千圓ノ資本ヲ以テスルガ巧ニヤレバ壹萬圓ノ運用ヲスル
カモ分ラナイ、是ハマア極端デアッテ、殆ドツンナコトハナイコトガアラウト
云フ御説モ出ルカモ分リマセヌガ、ドコヲ迄信用デ其働キガ付クカト云フコ
トハ、則チ運用ノ上手下手ニヨッテ豫メ斷言ハ出来マセヌガ、免ニ角其巧拙ニ
ヨッテ千圓ノ資本ノアルモノデモ、千圓ダケノ運用ガ利カヌカモ分リマセヌ、
千圓ノ資本ノアルモノガ巧ニヤリマスレバ、貳千圓參千圓若クハ壹萬圓ノ運
用ハ充分出来ルデアラウト考ヘマスルガ、唯今ノ其千圓ノ者ハ千圓マデヨリ
運用ハ利カヌ、他カラ借入レルニモ千圓マデヨリ借入ラレルト云フヤウナ御
答ハ、唯政府委員トシテノ御考デアリマス、何か斯ウ云フ制限ガ設ケテア
ルカラ、之ニ依テツレヨリ往カヌト云フコトガアルノデアゴザイマス、ソレヲ
伺ヒタイ

○(野田卯太郎君) 此第一項ノ組合員ノ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ、及儲
金ノ便利ヲ得セシムルト云フ此文面カラ見レバ、他カラ借入レルコトハ宜シ
イケレドモ、貸付ケルコトハ組合員ノ外ニハ成ラヌト云フヤウニ讀メルガ、
果シテサウデゴザイマス、儲蓄金ノ如キモノガ多クナツテモ、他ニ貸付ケ
ルコトハナラヌ、サウ讀ンデ宜シウゴザイマセウカ、言葉ヲ縮メテ言ヘバ資
本ヲ借入レルコトハ、組合外ニモ宜シイケレドモ、貸付ケルコトハ組合ノ外
ニ出ヅベカラズト、斯ウ讀ンデ宜シウゴザイマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一ニ平岡君ノ御質問ニ對シテ御答致シマ
ス、此法案ニ於テ認メテ居リマスル組合ノ組織ト云フモノハ、第二條ニ規定
シテアルノデアリマシテ、則チ組合員ノ責任ニ種類アル、組合員ノ全員ガ無
限責任ヲ負擔スルモノト、全ク有限責任ダケヲ負擔シテ居ルモノト、ソレカラ
出資ニ出スベキ金額ノ外ニ、尙一定ノ金額ヲ限度トシテ萬一ノ場合ニ責任ヲ
負擔スルモノト、此三種類ヲ負擔シテ居ル、尤モ此中ニ外ニ對スル信用ノ基
礎ノ固イト云フモノハ、無論無限責任ヲ負擔シテ居ルモノデナケレバナラヌ、
ソレデ農工銀行法中改正法律案ニ於キマシテモ、組合員ノ全員ガ無限責任ヲ

負擔シテ居ルモノニシテ、且ツ信用確實ナルモノニ限ツテ特ニ此貸付ヲナスコ
トガ出来ルト云フコトヲ定メタノデアリマス、固ヨリ其農工銀行ニ於テ組合
員ノ全員ガ悉ク無限責任ヲ負擔シテ居ルケレドモ、併ナガラ組合事業ヲ見レ
バ如何ニモ信用スルコトガ出来ヌ、又無限責任トハ表面ハ言フケレドモ、總テ
ノ組合員ガ悉ク資産ノナイ人デアアルト云フコトヲ見マシタラバ、無論金ヲ
貸スト云フコトヲ承諾スル筈ハナイ、ソレデ詰リ或ハ組合員中ニ資産ノアル
者ガ加ツテ居ル、其資産ノアル者ノ信用ヲ利用シテ組合ヲ組織スル場合モアリ
マセウシ、御話ノヤウナ資産ハ左迄裕カデナイ者ガ多イ、併ナガラ組合ノ事業
ノ實績ヲ見ルト、充分ニ信用シテ宜シイモノデアアルト云フヤウな場合ニハ、必
ズシモ、組合員ガ其組合ニ醸出スル金額ノ限度ヲ越エテ、貸付ヲセヌト云フ
コトハドウシテモ言ハナイ、ソレハ組合ノ組織、組合ノ事務、組合員タル者ノ
資産ト云フモノヲ參酌シテ、農工銀行ガ貸付ケルト云フ結果ニナラウト思ヒ
マス、決シテ壹圓ノ金ニ對シテハ壹圓以上ヲ借サヌモノデアアルト云フ斷定ヲ
下スコトハ出来ナイノデアリマス、又農工銀行ガ此産業事業ニ資金ヲ流用シ
テヤル際ニ於テ、決シテ法律ニ於テモ命令ニ於テモ制限ノアル譯デアリマセ
ヌカラ、其組合ノ信用ノ如何ト云フコトハ、詰リ農工銀行ノ鑑定如何ニ依ッテ
定マルノデアリマス、ツレカラ唯今ノ野田君ノ御質問ハ、産業組合ト云フ
モノ、主タル目的ハ、即チ組合員カラ組合ニ金ヲ貸シテ、相當ノ利益ヲ無論
取ルノデアリマス、併ナガラ利息ヲ取ツテ金ヲ貸シテ往ク上ニ於テ、必ズ多少
ノ剩餘金ガ生ズル組織ニ出来テ來ナケレバナラヌ、其剩餘金ト云フモノヲ普
通ノ營利的ノ組合デアレバ、他ニ其剩餘金ノ分配ニ與カル者ガ出テ來ナケレ
バナラヌ、組合ニアッテハ組合員カラ一旦拂ツタケレドモ、併ナガラ剩餘金
ガ生ジタ場合ハ、取りモ直サズ拂ハヌデ宜イ、金ヲ拂フト云フ結果ニナリマ
スカラ、再ビ己ノ手ニ落チテ來ル結果ニナル、サウ云フ譯デアリマスカラ、
重ナ目的ハ組合員ニ其資金ヲ貸ス、併ナガラ集ツタ所ノ金ガ非常ニ多額ニナ
リ、組合員中其資金ノ流用ヲ望ムモノガ一人モナイト云フ場合ニナツテ、現
金デ組合ニ其金ヲ寢カシテ置カケレバナラヌコトハ、組合ニ於テ甚ダ不利
デアリマスカラ、相當ノ利殖ノ方法ヲ計ラネバナラヌト云フコトハ、當然ナ
コトト思ヒマス

○(野田卯太郎君) 他ニ貸付ケテモ宜シイト云フ意味ナンドスカ、又現在ノ
コトヲチヨット御尋申シマスガ、之ヲ此文字デ云ヘバ貸付ケルコトハナラ
ヌヤウナ鹽梅ニ讀メルデス、ソレデ其報德者トカ何ト云フモノハ、多分醸
金ヲシテ居ルナラバ、組合員外ニモ其貸付シテ居ルヤウナコトガアリハセヌ
カト思フ、ソレト斯ウ云フ風ナ文字デヤツテ置イテ、既ニ既設ノ信用組合ニ
差支ヘノ起ルヤウナコトハナイカト云フ私ノ杞憂デス

○政府委員(岡野敬次郎君) 此法律ニ於テ組合員ニ資金ヲ貸付スルト云フノ
デアリマスカラ、無論組合員ニアラザル者ニ資金ヲ貸付スルコトハ出来マセ
ヌ、元々組合員ノ利益ヲ圖ル爲メニ組合ヲ成立スルノデアリマスカラ、決シテ

組合員以外ノ者へ資金ヲ貸付スルコトハナイ、併ナガラ或ハ銀行ニ貯金ヲス
ルトカ或ハ公債證書ヲ買ッテ置クトカ云フヤウナ、相當ノ利殖ノ方法ヲ執ラ
ネバナラヌト云フコトヲ申シタノデアリマス

○(中林廣太郎君) 先刻私ガ此英吉利ノ産業組合ニ於テ失敗シタト云フコト
ニ就テ御尋ね致シマシタガ、私モ多少據リ所ガアツテ調べタモノデアリマス
ガ、或ハ調ベタモノガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ、ソレニ就イテ政府委員
ノ御答ニ、起業組合自由組合ニ於テハサウ云フコトハナイト云フ御答デゴザ
イマシタガ、サウスルト他ノ或ハ共同販賣トカ或ハ生産組合トカ云フモノニ
至ッテモ、更ニ此産業組合法ナルモノニ依ッテ、少シモサウ云フ失敗ヲシタト
云フコトハナイト心得テ宜シウゴザイマスカ、一應確メテ置キタイ

○政府委員(和田彦次郎君) 少シモ左様ナコトハナイト云フコトハ御答ハ出
來マセヌ、多少ノ變遷モゴザイマシタラウシ、失敗ヲシタコトハナイトハ申
シマセヌ、併シ産業組合ヲ起シタルガ爲メニ工業或ハ農業ニ著シキ害ヲ與ヘ
タコトハ曾テ聞キマセヌ

○(金岡又左衛門君) 此本案ノ目的ノ骨子トスル所ハ唯今政府委員モ述ベラ
レル如ク、又理由書ニモアル如ク、中産以下ノ産業者ヲシテ低利ノ資本金ヲ
運用ヲ附ケシムルコトガ主眼デアアル、又中産以下ニ於キマシテハ是ガ最モ必
要ヲ感ジテ居ル所デアアル、世ノ中ノコトト云フモノハ意ノ如クナラナイモノ
デアツテ、中産以上ニ却ッテ資本ノ安イ金ヲ運用スルコトガ出來マス、中産以
下ノ資本ノ乏シイ人ハ、却ッテ高利ノ金デナケレバ借リルコトガ出來ナイト云
フコトハ、誠ニ憂フベキコトデアリ又國家トシテモ大ニ考案ヲ費スベキコトデア
ラウト思ヒマスカラ、如何ニモ此案ノ提出ノ理由ハ尤デアアル、併ナガラ吾々ハ

窃ニ失望シテ居リマスノハ、或ハ目的ハ誠ニ宜イ、希望ハ誠ニ宜イケレドモ、
事實ノ上ニ於テ此目的ヲ行フコトハ出來ヌト云フヤウナ、悲ムベキ場合ニ遭
遇シハシナイカト憂フル者デアリマスガ、其譯ハ然ラバ如何ニシテ中産以下
ノ者ニ低利ノ金ヲ融通ヲ求メシムルカト云フト、或ハ農工銀行ノ如キ勸業銀
行ノ如キ彼ノ銀行ナルモノガアツテ、國家有益ノ事業ニ對シテハ低利ニ金ヲ
貸付ケル、彼ノ銀行ハ義務トシテ其目的ヲ以テ相當ノ保護ヲ受ケテ居リマス、
故ニ或ハサウ云フコトモ出來マセウ、併ナガラ此産業組合法ヲ讀ンデ見マス
ルト、唯組合ノ道ノミ規定シテアツテカラニ、如何ニシテ其安イトコロノ金ヲ

他カラ求ムルカト云フコトニ至ッテハ甚ダ覺束ナイ、唯一ノ望ト云フモノハ農
工銀行若クハ勸業銀行カラ借リルコト云フ説ニ過ギナイ、若シ勸業銀行ナリ農
工銀行ト云フモノガ此者ニ向ッテ、金ヲ貸付ケルコトハ出來ナイト云フテ謝
絶ニナツタ時分ニハ、唯一ノ目的タル農工銀行勸業銀行カラ金ヲ借リルコト
ハ出來ヌカラ、其他ノ道ニ於テ低利ノ金ヲ借リルコトハ勿論出來ナイ、國家カ
ラ保護ヲ受ケテ居ル銀行デスラ貸セナイモノデアリマスカラ、其他ノ一般ノ
金貸業者ニ向ッテ、低利ノ金ヲ借リルコトハ望ムベカラザルコトデアアルカラ、
勿論イケナイ、而シテ此信用組合ナルモノハ如何ナルモノデ組織スルカト云

フト、中産以下ノ最モ金ノ融通ニ苦ミ最モ今日迄ハ高イ金ヲ借リテ居ル者デ
アリマスカラ、其者共ヨリ集ムル資本金ハ勿論高イ金デアアル、其高イ金ヲ以
テ其組合ヲ起スナラバ、此信用組合ヲ設クルノ目的ニ外レテ仕舞フ、信用組
合ハ中産以下ノ者ヲシテ便利ノ資本ヲ運用セシムルモノデアアル、然ルニ是ニ
對シテ保護シテヤルト云フコトノ道ガナイノデアリマスカラ、農工銀行カラ
金ヲ借リルニシタ所デ、ドウ云フ約束デアリマスカ、農工銀行ハ其者ニ向ッ
テ貸付ケルコトハ拒絶スルト言ツタラ、ソレ迄デアリマス、サウスルト如何
ニモ目的ハ宜イケレドモ、安イ金ノ融通ヲ求メルト云フ道ハナクナツテ仕舞
フ、詰リ安イ金ノ融通ヲ求メルト云フ機關ガナイトシタナラバ、折角其ノ希
望ハ——目的ハ安イ金ヲ融通スルノデアツテモ、實際ノ上ニ於テ運用スル道ガ
甚ダ覺束ナイヤウニ私共ハ考ヘマスカ、此點ニ付イテハ何か其ノ組合ナルモ
ノニ向ッテ、相當ナル保護ヲ與ヘテ、即チ安イ金ノ融通ヲ付ケルト云フ所ノ
道ガナニカアリマセヌカ、モウ少シ融通ヲ付ケルト云フ道ハアリマセヌカ、
此點ニ付イテハ勿論政府ニ於カレテモ提出サレルマデニハ、色々攻究サレタ
ト思ヒマスカラ、尙此點ニ付イテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○(原田起城君) 唯今金岡君ノ御尋ねニナツタコトハ、先刻私ガヤハリ御尋
ねシマシタ趣旨ニ外ナラヌノデアスガ、少シク議論ニ涉リハセヌカト思ヒ差控
ヘテ居リマシタガ、唯今金岡君ガ言ハレタ如ク、小資本家ガ集マツテ今マデ
高利ノ金ヲ借リテ居ッタ者ガ集マツテ、ソレ等カラ低利ノ金ヲ貸付ケテ、尙
組合ノ信用ヲ得ルト云フヤウニスルト云フコトハ、或ハ望ンデ得ラレヌコト
デアアルマイカト思ウ、獨逸ナドノ如ク彼ノ労働者社會ニ於テ、生産組合トカ
云フヤウナモノヲ設ケテ居ル、此等ノ如キハ資本家ト其労働者ト聯合シテ組
織シテ居ルノデ、其組合ノ資本ト云フモノハ半額ハ資本家ガ出シ、半額ハ勞
働者ガ出ス、ソレハ恰モ今日農工銀行ニ對シテ國庫ガ三分一ノ補助ヲシテ居
ルヤウナ組織ニナツテ居ル、ソレ故ニ組合モ能ク成立テ居ル、無論彼ノ労働
社會ノ災害保險トカ、疾病保險トカ云フ如キニ至ッテハ、工場主ト労働者トガ
互ニ金ヲ出シテ組織シテ居ル、サウ云フヤウナコトデモナケレバ、實ニ結構
ナ必要ノ目的デアアルガ、實施上ニ於テ果シテ其目的ガ達シ得ラレルカ得ラ
レヌカ、無論是ヲ御提出ニナツタノデアスカラ、其邊ノ所ハ御調べニナツテ、是ナ
ラバ目的ヲ達シ得ラレ、ト云フ御答辯ヲ承リタイノデアリマス、サウ致
シマスト吾々ハ安心シテ、本案ニ十分賛成ヲスルコトガ出來ヤウト思ヒマ

ス

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今色々御質問デゴザイマシタガ、成程中産以
下ノ農工業家ニ向ッテ、低利ノ金ヲ運用サセタイト云フコト本案ノ希望デア
ザイマスケレドモ、其中産以下ノ者ガ集ムル金ハ高イ金ノ高イ利子ヲ拂ッテ
其金ヲ集メテ、サウシテツレヤルト云フコトニ考ヘマシタナラバ、實ニ利
益ノナイヤウナモノデゴザイマスケレドモ、當局者ノ見テ居リマスル所デアハ、
中産以下ノ者ニ向ッテ低利ノ金ノ需用ヲ與ヘ、且ツ貯蓄ノ即チ勤儉貯蓄ノ風ヲ

養ヒタイト云フ趣意アリマシテ、又之ヲ組織スル者ハ中産以下ノ者バカリカト云フト、サウハ見テハ居リマセヌ、例ヘバ地方ニ於キマシテ地主ナドモ之レニ加ハルコトガ出来マス、現ニ肥料ナドガ高クナツテ來テ甚ダ差支ヲ生ジテ居ル實況モゴザイマスカラ、地主ニ於キマシテモドウカシテ小作人等ニ對シ、肥料ナドモ十分ニ増サセ、小作人ノ利益ヲ保護シタナラバ、地主ノ方モ却ツテ土地ヲ肥スト云フ利益ノ道ヲ開クト同様デアリマスカラ、ヤハリ此組合中ニハ相當ノ金ヲ持ツテ居ル者モ這入ツテ宜イノデゴザイマス、ソレデ地方ニ於テ十分熱心ナル人ガアツテ、其利益タルコトヲ認メタナラバ、相當ノ財產家モ其組合ニ加ハリ、又地主ナドモ集マリ、一方ニ於テハ農工銀行等ノ融通ノ道モ開クト云フコトニナリマシタナラバ、現今ノ儘デ打捨テ置キマスルヨリハ、大ニ産業上ノ利益ヲ得ルト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、又別ニ保護ノ案ハナイカト云フ御尋デゴザイマシタガ、固ヨリ十分ノ發達ヲ希望スルノデゴザイマスカラ、補助ノ道モ何トカアリハセヌカト攻究モ致シマシタガ、御承知ノ如ク今日ノ日本ノ財政デゴザイマスカラ、斯様ナルモノニ特別ナル利益ヲ得セシムルト云フテモ、今日ノ事情ガ許シマセヌ、ソレ故ニ營業上ニ付イテモ御承知ノ通り、他ノモノデハ色々取テハ居リマスガ、本法ニ付イテハ成ルベク取ラヌヤウニシテ、便利ヲ與ヘルト云フコトニシテ、本案ハ成立チマシタノデアリマス

○(加藤八藏君) 先刻野田君ノ御問ニ對シテ政府委員ノ御答ガ要領ヲ得マセヌノデスガ、御覽ノ通り石版摺ニナツテ居ル中デ、愛知縣或ハ私ノ近邊デ靜岡ナドニ關シテ、私ハ能ク其實ヲ知テ居リマスガ、先程政府委員ノ御答ノヤウデハ誠ニ之レガ死物ニナツテ、却テ厄介物ニナルカモ知レヌ、此産業法案ハ私ハ斯ウ解シテ居ル、政府モ斯ウ御解シテ下サラナケレバ、實際直グト差支ガ生ズルノデ、若シ私ガ言タコトガ間違ナラ間違ダト言テ下サルヤウニ願ヒマスガ、併セテ政府ニ御問ヲシテ果シテ私ノ言フ通デアルカト云フコトヲ確メル、此信用組合ト云フノハ二ツノ意見ヲ有ツテ居ル、一ツハ此字ニ書イテアル通、組合員ノ産業ニ必要ナル資本ヲ貸付ケルト云フノト、貯蓄ノ便宜ヲ與ヘシムルト云フコトノ二ツガアル、所ガ先程野田君ノ御問ニ對シテハ金ガ剩ツタナラ、其金ヲ他ニ貸シテ宜イカト云フニ、政府委員ハソレハ惡イト云フヤウナ御答ノヤウデアッタ、ソレガトンデモナイ話デアッタ、サウスルト此規則ガナイ方ガ都合ノ宜イコトニナル、例ヘバ愛知縣靜岡縣ニハ報德講ト云フノガアル、色々アリマスガ、其中ニハ産業ニ必要ナル金ヲ安ク借リルト云フヤウナノモアルガ、多クハ貯蓄シヤウト云フノデ組織シテ居ルノガ多イト云フテモ宜シイ位デアリマス、所ガ其報德講ハドナタカガ御心配ニナツタ如クニ、失敗ヲセヌ方ガ多イノデ、冒クヤツテ居ル方ガ多イ、ソレデ金ハドンク溜ツテ來ル、其溜ツタ金ト云フモノハ斯ウ云フ規則ガナクとも、中中冒クヤリマスカラシテ、或ハ地方デ斯ウ云フコトガアル、能ク政府委員ニ御注意ヲ願フテ置キタイノハ、日本ノ公債證書ヨリ近邊ノ古イ家デ財産ノアル

人ト云フ者ハ、其近傍ノ百姓トカ組合員ノ如キハ、政府ノ公債證書ヨリ其人ヲ信用スルト云フコトガ大方アル、公債證書ガ五分ノモノナラ其人ノハ四分五厘デモ其方ヲ頼ムト云フコトガアル、ソレハ何時デモ都合ノトキニ直グ受取レルト云フ便利ガアル、其家ハ主人モ堅シ從來カラ少シモ不都合ナルコトガナイ、其信用アルコトハ公債證書ヨリモ人ガ好クト云フコトハ事實デアアル、サウ云フコトガアルカラ皆ソコヘ預ケル、或ハサウデナクシテ之ハ極ク堅イト云フ者ハ貸セルコトモアレバ、預ルコトモアル、或ハ其者ノ株ニ這入ルト云フコトモアル、ソレハ事實ヤツテ居ルノデ、即チ此貯金ノ便利ヲ得セシムル事等ハ事實サウデナケバナラヌ、無論ソレハ宜イト私ハ考ル、政府モサウデアラウト考ル、併シ先程ノ御答デ見ルトサウデナイヤウニ見エル、サウスルト云フト前ノ方ハ宜イガ後トノ方ガ困マルカラ、先キノ政府委員ノ御答デ見ルト寧ロナイ方ガ宜イイト思ヒマス、私ノ云フ通りニ政府モ思フテ御出ナサルカ、先程ノ言葉ガ足ラヌト考ヘマスカラ如何デアアルカト云フコトノ御問ヲスル、ソレカラ先程英國デ失敗シタトカ日本デモ失敗ヲシタダラウト云フ語氣ガアルガ、ソレハ無論アル、私ノ近縣ニモ澤山アルガ、失敗シタノモアレバ、甘クイッタノモアル、將來モ此法ガ行ハレテ澤山失敗ガアルダラウガ、ソレハドウ云フノカト一例ヲ舉ゲレバ、或ル産業ヲアルニ組合ヲ興ス、興ス所ガ其會員ノ一部分或ハ多數カモ知レナイ、例ヘバ肥料ヲ買フト言テモ實ハ買ハナイデ外カノモノニ使ツテ仕舞フ、農工銀行ニ往ツテ田地ノ肥料ヲ買フノニ借リテ來テ、其金ヲ外ニ使ツテ仕舞フト云フコトガ、今デモアル、將來大分サウ云フコトガアラウ、態々外ノモノニ使フ、名ヲ長クシテ將來總テノ仕事爲スコトガ、國家ノ爲メトカ國民利福トカヤカマシク言フテイロノコトヲスルガ、サウ云フモノガ必ズ國民利福ヲヤラヌ看板デ、人ヲ瞞着シヤウトスルノデアアル、本案デモサウデアアル、或ル事ヲシマスト言ツテ、農工銀行デ借リテ一個人デヤルトカ言ツテ、實ハヤラナイカラ失敗ガ起ル、既ニアルノデス、又アルノミナラズソレハ一部分ノ話デ宜クナイケレドモ、ソレニ就イテハ十分政府或ハ地方官トガ監督ヲシテ宜イノデアアルガ、サウ云フコトハ澤山アラウト思ヒマスガ、其一部分ノアルガタメニ全體ノ利ヲ無ニスルト云フコトハ遺憾ノ話デ、ソレハ政府ノ監督サヘ宜クスレバサウ云フコトハナイ譯ト考ヘマス、ソレカラ仕舞ヒニ農工銀行トカ勸業銀行トカ拓植銀行トカ頻リニ書イテアツテ、此三ツノ銀行ノ外イカヌヤウニ見エマスガ、私ノ解スルトコロデハサウ云フ組合ト云フモノハ、第二條ノ無限トカ保證責任トカ云フニ至レバ、全ク其實ヤルト云フコトガ明瞭ナレバ、ドコデモ安ク貸シテ呉レルヤウニ、是ハ無論三ツノ外ドコデモ借レル云フコトニ見テ私ハ考ヘルガ、又サウナケレバナラヌト思ヒマス、政府ハドウダカソレヲ併セテ御問ヲ致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、産業組合法ハ即チ産業組合全體ニ通シテ、組合員ノ利益ヲ謀ルト云フノガ目的デアリマスカラ、其組合員ノ利益ヲ謀ルト云フ方法ハサマシクアリマセウ、併ナガラ本案ノ第六條ニ於

テ或ル制限ニ達スル迄ハ、所得税ヲ課セズ又營業税ヲ課セス、營利ヲ目的ト
セサル社團法人ト同一ノ登録税ヲ納ムベシ、即チ營利ヲ目的トスルモノトハ
異ツテ居ル、登録税モ安クナリテ居リマス、又組合名簿ノコトニ付イテハヤ
リ登記デアラガ、登記ト同一ノ效力ヲ有スルモノデスカラ、組合名簿ハ供
テ置キマシタ、産業組合ニ供ヘテ記載シテアル、變更ノ登記ヲ爲スガ如キ組
合中ニ變動ノアツタ時分ニハ、ヤハリ組合名簿ニ事項ヲ登録シナケレバナラ
ヌト云フコトニナツテ居リマス、是ニ付イテハ更ニ登録税ヲ課セヌト云フヤ
ウナ恩典ガ與ヘテアルノデアアルノデアリマス、斯ノ如キモノデアアツテ、即チ組
合人ノ利益ヲ圖ルノデアアル、營利ヲ目的トセヌモノデアアルト云フノデ、此第
六條ニ掲ゲテ恩典ヲ與ヘテアルノデアリマス、故ニ普通ノ銀行ガ廣ク公衆ニ
對シテ資金ヲ配付シテ、自己ノ利息ヲ得ルガ如キ方法ヲ産業組合トシテハ之
ハ無論ナシ、若シ普通ノ銀行ガ如キ事業ヲ爲スノデアアルナラバ、産業
組合ヲ特ニ設ケル必要ハナイ、詰リ營利ヲ目的トセヌモノデアアル、銀行ハ營
利ヲ目的トスルモノデアアルト云フ區別ガアル故、一方ハ例ヘバ高イ所ノ營業
税ヲ拂ハナケレバナラヌ、高イ所得税ヲ拂ハナケレバナラヌ、普通ノ商會
社ト同シヤウニ登録税ヲ拂ハナケレバナラヌ、併ナガラ營利ノ目的デハナイ
ノデアアル、即チ組合員ノ利益ヲ圖ルト云フタメニ、此産業組合設立ト云
フ點カラ、即チ第一條ノ第一項ニ組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シトアツ
テ、目的ヲ定メテ譯デアリマス、御話ノアル如ク即チ場合ニ依ツテハ非常ニ
信用ノアル者ニハ金ヲ貸スト云フ如キハ、ソレハ組合法ガ行ハレタ上カラ言
ヘバ、ソレハ組合ニ當テ利益デアリマセウ、併ナガラ其利益ヲ認メルト云
フコトデアリマスナレバ、第六條ノ如キ恩典ヲ與ヘル趣旨トハ決シテ合ハナ
イノデアアル、ソレデ先刻申述ベタ通ノコトデ、組合員以外ノ者ハ資金ヲ貸
付スルト云フコトハ、組合ノ目的トシテ得ヌト云フコトヲ申シタノデアリマ
ス

○(木村哲太郎君) ドウカ先刻來諸君ノ御質問デ大躰議案ノ組織ヲセラレタ
趣意ハ分ツテ居ルト思ヒマスカラ、即チ一讀會ノ如ク大躰ニ於テノ可否ヲ御
採り下スツテ、逐條ニ付イテ漸次運ブヤウニ致シタイト思ヒマスガ、質問ハ
此邊デ御止メテ願ヒタイ

○(野田卯太郎君) 此組合デゴザイマスガ、先刻カラ中産以下中産以下ト云
フ御話ガゴザイマスガ、營業上ニ於テ政府委員ノ答ヘララルル通り、必ズシモ
之ハ貧民ノ組合トハ思ハナイ、然ルニ私ノ縣及佐賀縣ト云フヤウナ處ニ於テ
ハ、チツボケノ炭坑ガ澤山アル、斯ウ云フ小資本ノ炭坑會社、斯ウ云フモノ
ガ集ツタ時分ニハヤハリ同一ノモノト見テ宜シイノデアアルカ、無論之デハ宜
シカラウト思ヒマスケレドモ、農工銀行デアリマセウガ、勸業銀行デアリマ
セウガ、此炭坑ト云フモノハ組合ノ中ニハ入レヌト云フコトデ、アレニハ貸
付ヌト云フヤウナ箇條ガアツタヤウニ記憶シテ居ル、サウ云フモノハ農工銀行
ニ於テモ此法ニ依ツテ金ノ借入レヲ求メルト云フコトガアレバ、ヤハリ此法ヲ

元ト、シテ農工銀行ハ之ニ貸付スルヤ否ヤ、之ハ要用ナコトデアラウト思ヒ
マスカラ、チヨット私ハ質問ヲ致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 先刻加藤サンノ第二條ノ御質問ニ對シテ御答致
シマスガ、御承知ノ如ク農工銀行ニ於テハ貸付ノ方法ガ限ツテアルノデ、ソ
レデ産業組合ニ對シテ或法ヲ以テ貸付ヲ爲スコトハ出來ナイト云フ、現行ノ
農工銀行ニ縛バラレテハ、産業組合ノ發達ニ影響ヲ來タスデアラウト云フノ
デ、特ニ農工銀行法中改正法律案ヲ出シタト云フ次第ニナツテ居ルノデス、
固ヨリ農工銀行其他理由書ニアル所ノ銀行ニアラズンバ、産業組合ガ金ヲ借
リルコトガ出來ヌト云フ趣意デハナイ、一個人カラ金ヲ借りヤウトモ、其他ノ
銀行ナリガソレヲ信用シテ金ヲ貸スト云フコトハ、其モノカラ資金ヲ流通ス
ルト云フコトハ、此法律デ禁ズルノデアアリマセヌ、併ナガラ農工銀行ノ規
定ト云フモノハ窮屈デアアツテ、産業組合ノ發達ニ害ガアルト云フコトヲ認
ル所カラ、此改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマスカラ、決シテ此農工銀行カ
ラノミ借りルト云フノデアアルト云フ趣意デハアリマセヌ、ソレカラ野田サン
ノ御話デアリマスガ、小炭坑者ト云フモノガ聯合シテト云フ御話デアリマシ
タガ、目的ノ如何ニ依ツテ或ハ一ニモアリマセウケレドモ、或ハ二ニモアリマ
セウケレドモ、或ハ三ニモアリマセウケラ、ドウ云フコトカ私ハ其事情ヲ知
リマセヌガ、其事實ヲ御話シ下サレバソレニ依テ何レカラ這入ルコトガアラ
ウト思ヒマス

○(野田卯太郎君) 是ハ二三四ニ箱マルモノガ澤山アラウト思フ「コークス」
ノヤウナモノヲ造ツテ賣ルト云フコトノモ、加工シテト云フ文字ニナラウト
思フ、其「コークス」ヲ造ルタメニ機械ヲ買フトカ、或ハ其他ノ事ニ對シテ貸
シテ呉レサイスレバ、宜シウゴザイマスガ、是等ハ農工銀行ノ改正ニモ或ハ
關係ガアラウカト思ヒマスカラ、念ノタメ御尋ネテシテキマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスルガ、唯今御話ニ依ルト或ハ販賣
ト云フコトヲ目的トシ、同時ニ購買ヲ目的トシ、同時ニ又生産ヲ目的トシテ、
即チ此四項ニ掲ゲテアル事業ヲ目的トスルト云フノヲ、併セテ營シテ居ルト
云フマデノ話デ、是ハ詰リ販賣購買生産ノ事業ヲ併セテナス人ノ産業組合デ
アリマスカラ、其併セタ目的ヲスルコトハ禁ゼヌノデアリマス、無論農工銀
行法ノ改正法律案ガ即チ法律ニナツテ施行セラル、曉ニナツテハ、御話ノヤウ
ナ組合ハヤハリ農工銀行カラ金ヲ借リルコトガ出來ルノデアリマス

○(平岡萬次郎君) 政府委員ニ御尋シマスガ、此途ガ開ケマシタ以上ハ御法
案ヲ旨ク運用シテ、其給金ノ利益ヲ進メルト云フコトハ、或ハ又非常ニ失策
ヲヤツテ、組合員ニ非常ニ迷惑ヲ與ヘル、其岐レ目ト云フノハ唯理事者ノ人ヲ
得ルト得ヌトニアラウト思ヒマス、隨分此組合員ニハ中産以上ノ者モ出來マ
セウケレドモ、多クハ中産以下ノ人、而シテ其産業程度カラ如何カニト云フ
ト、寧ロ口情ニ迂イ人ノ組合ニナルデアラウト思フ、サウシテ其理事者トナル
ヤウナ人ハドウデアアルカト云フト、隨分世事ニモ長ケテ居ルトカ惡イコトヲ

スルコトモ知ツテ居ル人ガ、多クハ率先シテ斯ノ如キコトヲ設ケヤウト云フコトデ、其理事者ニナルノデゴザイマス、其理事者ガ惡イト此折角ノ目的ヲ打毀ハシテ仕舞フト云フ例ハ、世ノ中ニ澤山アルノデアリマスガ、此法案ニ付イテ外ニ社長トカ或ハ理事トカ云フ者ノ、同一ノ取締リニナツテ居リマスカ、或ハソレヨリハ餘程嚴格ニ取締リテ責任モ重クスルト云フコトニナツテ居リマスカ、是ハ一々是ヲ對照シテ見マスレバ分リマセウガ、政府委員ニ其ノ所ヲ承リタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスルガ、此理事——御話ノ通りノ産業組合ノ成績ノ擧ガルト擧ガラヌトハ、無論理事其人ヲ得ルト得ナイトニ依テ分レルデアラウト思ヒマス、此理事管理ノ如キモノハ其選任ニ付キマシテ、又其解任ニ付キマシテハ、ヤハリ其組合員ノ總會ノ自治ニ任セラレルト云フコトヲ、先ツ原則トシタノデアリマス、ソレデ此第二十五條以下ニ理事又ハ其管理ニ關スル規定ヲ設ケテアリマスガ、普通ノ民法上ノ法人トカ、或ハ商事會社ノ、則チ株式會社ニ於ケル取締役、或ハ監査ト云フヤウナモノト、先ツ大體ニ於テハ同ジデアリマスガ、唯御話ノ通ニ多少ハ監督ヲナスノ必要ガアルト云フコトハ、即チ此法案ニ於テモ認メタノデアリマス、既ニ第五十九條カラ第六十一條ニ至ルマデノ三條ノ規定ヲ以テ、或ハ此監督官廳カラ進ンテ理事幹事等ノ改選ヲ命ズルト云フ場合モ見テアルノデアリマス、場合ニ依テハ五十一條ニモ規定シテアリマス通、組合ノ事業ヲ停止スルコトモ出來ル、又解散ヲ命ズルコトモ出來ルト云フコトヲ認メタノデアリマス、ソレハ理事ヲ初メテ選任スベキトキニハ、ソレガ適任者ガアルカ或ハ理事トシテ不適任ノモノデアルト云フコトハ、ヤハリ組合員ノ自治ニ任セルノデアリスガ、其上ニ於テ尙行政官廳ニ於テ監督ヲスルト云フ主義ヲ採ッタノデアリマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) モウ時間モ何ヲ致シマシタカラ、休憩致シマシテ午後ノ所ハドウ致シマセウカ
(午後ハ國有鐵道問題ガ濟ンデカラト云フ者アリ)
○委員長(鹽田忠左衛門君) 左様ナレバ其方ニ致シマス
午後零時十一分休憩

午後三時二十四分開議

○委員長(鹽田忠左衛門君) 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、一章ツツ第一條カラ第六條迄

○(木村誓太郎君) 第六條ニ付イテ政府委員ニ御尋ネヲ致シマスガ、第六條ノ第三項ヲ見マスルト「産業組合ニシテ登記ヲ受クル時ハ營利ヲ目的トセサル社團法人ト同一ノ登録稅ヲ納ムヘシ」トアル、即チ本條ニ於テ産業組合ナルモノハ營利ヲ目的トセザルモノト云フコトニ認メテアル、然ルニ第二項ニ於テハ「産業組合ニシテ一般公衆ニ對シ營業ヲ爲ササルモノニハ」ト云フ制限ガ置イテアル、是ハ産業組合ノ第一條中ニ營業稅ヲ課スベキ者ヲ含ンデ居ルト

認メラレテ、此箇條ヲ置カレタモノデアリマスカ、一應御尋ネ致シテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、御承知ノ通り法人中ニハ營利ノ目的トシテ居ル法人ト、營利ヲ目的トシテ居ラナイ法人トガアリマス、登録稅法ニ於テハ營利ヲ目的トシテ居ル社團法人ノ登録稅ハ、營利ヲ目的トセザルモノニ比較スルト高イ、産業組合ト云フモノハ果シテ營利ヲ目的トスルモノト云ヒ得ルカ、或ハ總テ營利ヲ目的トセヌモノデアアルカト云フコトヲ斷言スルコトガ出來ルカト云フト、實際此法律ノ施行上ニ於テ多少ノ疑ヲ生ゼヌトモ限ラレヌ、ソレデ第六條ノ第三項ハ唯ダ登録稅ノ額ヲ定メルノ趣意デ掲ゲタノデアアツテ、營利ヲ目的トセザル社團法人デアアルト云フコトヲ言ヒ顯ハシタノデハナイ、即チ安イ登録稅ヲ拂ヘバ登記ヲ受ケルコトガ出來ルト云フダケノ趣意デ、三項ヲ置イタノデアリマス、第六條ノ第二項モヤハリ産業組合ニ於テハ性質營利ヲ目的トセヌモノデアアルカラ、當然營業稅ヲ課スベキモノデアナイト云フ議論ハ、議論ニ於テ正シイ議論デアアルカモ知レナイガ、併ナガラ此法律ガ施行セラレタ後ニ於テ、産業組合ハ營業シテ居ルノデアアル、或ハ産業組合中例ヘバ信用組合ノ如キハ、是ハ銀行ト同様ニ營業ヲ爲スノデアアルカラ、是ハ營業稅ヲ課セナケレバナラヌト云フコトニナツテ、ソレガタメニ産業銀行ガ營業稅ヲ課セラレルトコトニナツテハ、甚ダ此法律ノ精神ニ反スルノデアアルカラ、其疑ヲ避クルタメニ特ニ産業組合ハ、營業稅ハ一般課セヌト云フコトニ致シマシタ

○(木村誓太郎君) サウスルト全ク此第一條ノ一、二、三、四トアル組合ニ對シテハ、營業稅ハ課セヌト云フ精神デアリマスカ、念ノタメニ伺ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマス、此信用組合ト申スモノハ先刻御答申上ゲマシタ通り、組合員ニ限ツテ資金ヲ貸付スルノデアリマス、第二ノモノハ——第三ノモノハ他カラ買ツテハ來ルケレドモ、併ナガラソレハ組合員ニ限ツテ賣却スルノデゴザイマス、四項モ亦組合員ニ限ツテ其生産シタル物ニ加工シ、又ハ組合員ニ限ツテ産業ニ必要ナル物ヲ使用セシムル目的デアリマスカラ、其目的タルヤ總テ組合員ニ限ツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ一般公衆ニ對シテ營業ヲ爲スモノトハ認メナイノデアリマス、併ナガラ此一般公衆ニ對シテ營業ヲ爲ササルモノト云フ字ヲ使ツタ趣意ハ、第二項ノ即チ販賣組合、之ハ其品物ノ性質トシテハ組合員デアアルケレドモ、併ナガラ之ヲ他ニ販賣スル場合ニ於テハ、其事業執行ノ方法ハ普通ノ營利會社ト異ナルモノデアナイ、即チ誰ニ賣ルト限ツタデナクシテ、普通ニ何人ニ對シテモ賣ルモノデアアルカラ、實際ニ於テハ商事會社ト云フヤウナ營業ヲ目的トスルモノト混ハシイ、動モスレバ其方ニ傾キ易イモノデアアルカラト云フ、サウ云フ趣意デ是ニハ營業稅ヲ課スルト云コトニ定メタノデアリマス

○(中村誓太郎君) 其續キヲ御尋ネ致シマスガ、甚ダ迂遠ノ御尋ヲスルヤウデスガ、第六條ノ三項ノ「營利ヲ目的トセサル社團法人」トアリマス、此實例

ヲ舉ゲマシタナラバドウ云フモノヲ指シテ、是ハ云フタモノデアリマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ登録税法ニ定メテアリマスノデスガ、登録税法ニ依リテ登記ヲ受ケル場合ニ、價格モ色々違フテ居マス、ソレデ登録税法ノ中ニ、御承知ノ通り公益法人デス、慈善ヲ目的トスル法人、即チ公益事業ヲ目的トシテ居ル法人モ、民法ノ規定ニ從テ登録ヲ受ケナレバナラヌ、ソレハ營利ヲ目的トセヌモノデアリカラ、登録税ニ於テハ安イ税ガ課シテアル、之レニ反對デ合名會社トカ、株式會社トカ、合資會社トカ、營利ノ目的ト認メテ居リマス方ハ、登録税ガ高クナツテ居リマス、登録税法ノ第六條ニ斯ウ云フコトガアリマス「社團法人又ハ營利ヲ目的トシタル社團法人ニシテ登記ヲ受ケルトキハ左ノ如クニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ」ト云フノデ、八ツニ別ケテ事項ヲ掲ゲテサウシテ登録税ノ額ガ定メテアリマス、ソレニ依ルト云フ意味ガアルノデス

○(平岡萬次郎君) 此第七條ニ「産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス」トアリマスガ、七人ト云フ此制限デスガ隨分此産業組合ニ於キマシテハ、少イ數デ組合ヲ設ケルト云フ必要ガ多カラウト思ヒマス、殊ニ無限責任ノ場合ナドニハ、互ニ相信シ合ナケレバナラヌ、其中デヤルコトニ付イテハ或ハサウ多數ノ人ノナイ場合ニモ多クアラウト思ヒマスガ、此數ヲ五名位ニ若クハ三名位ニ——三名以上トカ五名以下トカ云フコトニシテ、詰リ少ナクテモ出來ルト云フヤウニシタ方宜カラウト思ヒマスガ、此七名以上ト云フコトニ極リマシタニ付イテハ、サウ少イト宜クナイト云フヤウナ御考ガアルノデゴザイマセウカ、自分ハ修正シタイト云フ考カラ質問ヲ致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、御承知ノ通り産業組合ト云フモノノ目的ヲ立テテ、即チ組合ノ事業ヲシテ十分ノ成績ヲ擧ゲシムルニ付イテハ、成ベク組合員ノ數ノ多イコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、爲メニ此案ノ第十條ニ於テモ「産業組合ハ其組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス」ト云フノデ、恰モ何人以上デハ往カヌトカ、或ハ此數ニ達シタラバソレヨリ以上組合員ヲ加入セシメナイト云フコトヲ、定款ニ定メテ置クコトヲ許サヌノデアリマス、ソレデ固ヨリ此信用組合ノミナラズ、販賣組合ニ致セ總テ信用ヲ以テ立ツモノニハ相違アリマセヌガ、併ナガラ眞ニ組合ノ目的ヲ達スルニハ、成ルベク人氣ノ多イ方ヲ希望致スノデ、ソレデ此御尋ニナツタ第七條ニ於テ七人ト定メマシタノハ、之ハ唯ダ設立當時ノコトデアリマシテ、一度産業組合ガ設立セラレタ後ニ於テハ、成ルベク多數ノモノノ加入ヲ希望スルノデアリマシテ、此設立者モ最初カラ七人以上多數人アル方ガ互ニ信用シテ居ルトキニハ、寧ろ其方ガ宜イノデス、併シ餘リ之ヲ多人數ニ極メマシルト、初メテ組合ヲ設立スル場合ニ於テ、大ニ困難ヲ感ズルノデアリマスルカラ、ソレデ先ツ七人トシタノデアリマス、何故ニ七人トシタカト申シマスルト、之ハ株

式會社ニ就キマシテハ、ヤハリ發起人ガ七人以上デナケレバ株主ハ七人以上ナケレバナラヌト云フ事項モアリマス、尙他ニモ七人ト云フ例ガアルノデアリマスカラ、先ツ凡ソ其邊ノ所ガ普通ノ員數デアラウト云フ所カラ、七人ト云フコトニシタノデアリマス、併シ之ハ唯ダ最初ノ最少限ノ制限デアリマシテ、例ヘバ本案ノ第六十二條ニ「組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス」ト云フ中ノ解散ノ原因ノ一トシテ、第四號ニ「組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ」ト云フコトガアリマス、之ハ丁度株式會社ノ株主ノ數ガ七人未滿ニナツタトキト稍同一ノ事由デアリマス、詰リ七人未滿ニ減シタルトキハ解散スルト云フヤウナコトハ實際ナカラウト云フコトヲ期シテ居ルノデ、餘リ人數ガ少イト組合ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フコトニナリマスカラ、凡ノ目安ヲ設ケテ之ヲ解散ノ事由トシタニ過ギヌノデ、事實ニ於テハ或ハ數十人或ハ數百人ノ多クナルト云フ組合ニ於テハ、モット人數ノ多イ方ガ其組合ノ目的ヲ達スルニ便利デアリマス

○(平岡萬次郎君) 唯今ノ續キデアリマスガ、政府委員ノ御答ハ私ノ問ニ對シテ要領ヲ得テ居ラヌト思ヒマス、多イト云フコトノ必要モアリ、又少イ人デ設ケルト云フ必要モアルノデ、ソレハ事實少ナイト云フ事實ヲ要スルコトガアリヤ否ヤ、成ルベク此法案デ今引カレマシタ通り、組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ズト云フガ如キ、成ルベク多キヲ要スルト云フ事實ガ一方ニアルト同時ニ、一方ニハ少ナイ人デモツテ設立ヲ希望スルト云フ事實アリト私共ハ信ズル、其場合ニ於テハ唯ダ金ダケヲ信用シテ、金トカ資本ダケヲ信用シテ成立ツ所ノ株式會社ノ如キニ至ツテハ、七人以上ト云フコトニシテモ宜シイデゴザイマセウガ、之ニモ有限責任モアレバ、モウ一ツハ保證責任ト云フノモアルト云フコトモアラウ、ケレドモ無限責任ト云フコトヲ以テ組合ト云フ場合ニハ、少ナクシナケレバナラヌト云フ必要ガ世ノ中ニアラウ、此産業組合ト云フモノヲ求ムル希望ニ應ジテ設立サセヤウト云フコトニ就イテハ、七人デハ窮屈ヲ感ズルデアラウカラ、差支ノナイ限リハ三名或ハ五名トカ云フ、少數ノモノデ設立スルコトガ得ラルル自由ヲ法律上與ヘテ置ケバ宜カラウト、斯ウ信ズルノデアリマス、ソコデ此多キヲ要スルト云フ所ノ理窟ハ、御尋ネシタノデナクシテ、少ナキヲ要スルト云フ事情ガ世間ニアルガ、七人ト云フコトニシナケレバナラヌコトニ付イテハ、深イ理由ガアルノデゴザイマスカト云フ、其反面ノ方ノ御答ヲ願ヒタイノデアリ

○政府委員(岡野敬次郎君) 人數ノ多キヲ希望スルノハ唯今申シマシタガ、第一條ニ列記シテアル所ノ目的ヲ以テ設立スルモノデアアル此組合ハ、中産以下ノ者デアリマスカラ、其製産スル所ノモノヲ賣ルノデアリナイ、又金ヲ借入レルト云フタ所デ、少人數デハ利益ガ少ナイノデアアル、此生産組合デナクテモ、或ハ器械ヲ買フトカ、或ハ其他農工上ニ必要ナ器具ヲ買フニモ、人數ガ多クナケレバ組合ヲ設立シタ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、御話ノ

如ク少人數デ立ツ、斯ウ云フ主義ノ組合ヲ設立スルコトモアルガ、斷ジテナ
イト云物コトヲ申スルノデアリマセヌガ、極ク人數ガ少ナクツテ相知リ信
用シテ居レバ、斯ノ如キ面倒ナ煩雜ナコトヲヤラヌデ、御互ニ出來ナイコト
モナイノデアリマス、ツレニ就イテハ此法律ニ依ッテ組合ヲ設置スルコトカ、
或ハ其組合ヲ以テ法人トスルトカ云フ、ヤカマシイ法律ニ從ハヌデモ、目的
ヲ達スルコトガ出來ルノデアアル、先刻モ申シマス通り七人ト云フノハ最少限
デアツテ、是デ満足スルノデアハナイ、成ルタケ多キヲ希望スルト云フ

○(西谷金藏君) チョット九條ノ十二項ニ就イテ伺ヒタイ「信用組合ノ區域ハ
市町村ノ區域以內ニ於テ之ヲ定メ」トアリマシテ、市町村ニ依ラネバナラヌ
ト云フコトハ、便利ニハ相違ゴザイマスマイガ、事實上ニ付イテ考ヘマス
レバ、町村ノ下デ大字ト云フモノハ、今日ノ行政區域ニ——斯ウ云フ場合ニ
ハ此但書ニ依ッテ許スノデアアルカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 唯今御尋ネニナリマシタノハ、市町村ノ區域ニ
依ッテアリマスケレドモ、市町村ノ區域ヲ越エザル限リハ、但書ハ市町村ヨリ
モ廣イモノデアツテ、地方長官ノ認可ヲ要スルノデアアル、唯今御話ノ如キ大字
ハ市町村ノ以內デアリマスカラ、ツレヨリ少サイカラ法律上差支ナイ

○(西谷金藏君) 是ハ信用組合ト特ニゴザイマスガ、二項ノ販賣組合トカ購
買組合ト云フモノハ要ラヌノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ信用組合ノ特別ノ規定デス

○(西谷金藏君) 二項二項四項ニ要ラヌノハドウ云フ理窟デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ販賣組合ノ如キ購買組合ノ如キハ、成ルベ
ク多ク買ツタリ多ク賣ツタリスルノデアリマスカラ、之ニ向ッテ區域ノ制限ヲ加
ヘル必要ガナイノデアアル、併ナガラ之ヲ又法律ガ之ヲ禁ゼヌト云フコトダケ
デアリマシテ、或ハ組合ガ是ダケノ區域デヤラウト云フコトヲ定メマスレバ、
ツレハ固ヨリ差支ナイ

○(原田起城君) ヤハリ今西谷君ノ御尋ノ所デアリマスガ、特別ノ事由ト
云フノハドウ云フモノデアアルカ、又組合ノ本社ヲ置イテ支社ヲ置クコトモ差
支ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、外國アタリノ例ヲ見マスルト、
ドウシテモ此組合ト云フモノハ大キイ程利益ガ多イノデアアル、ツレカラ一方
ハ生産物ヲ販賣シ又購買スルコトニナツテ居リマスガ、前ニ御尋スルノヲ忘レ
マシタカラ御尋致シマスガ、販賣組合ニ於テ購買スルコトハ出來ナイノデア
リマスガ

デアリマシテ、定款ニ其事ヲ書ケバ無論法律上其通りニナルノデアリマス
信用組合ニ於テヤハリ甚ダ此法律ノ上ニ於キマシテハ特別ノ自由アリト認
ムル以上ハ、ドシナニデモ出來ル譯デアアルノデス、併ナガラ元來信用組合ノ區
域ヲ限ツタト云フコトデアアル以上ハ、其精神ニ依ッテ甚シク其區域ヲ擴張スル
ト云フコトガ、事實ニ於テハ地方長官ガ認可ヲセヌト云フコトニナルノデア
リマス、尙續イテ先刻第二ノ點ニ付キマシテ御答ヲ致シマスガ、同一ノ産業
組合ニシテ販賣ト購買ヲ兼ネルト云フコトハ、素ヨリ差支ナイノデゴザイマ
スルケレドモ、併ナガラ其販賣ト云フノハ組合員ノ生産シタル物ヲ限ッテ賣却
スルノデス、購買ト云フノハ他カラ買フテ來タ物ヲ組合員ニ限ッテ賣却スル
ノデアリマスカラ、其目的ヲ破ラヌ限リハ無論併セテ營業シテモ差支ナイノ
デアリマスガ、併ナガラ他カラ買フテ來タ物ヲ、其物ヲ又他ニ賣ッテハ賣
却デアルト云フ、即チ純全ナル商業ノヤウナコトハ無論許サヌノデアリマ
ス

○(橋本久太郎君) 私ハ段々御質疑デ分ッテ來マシタガ、今チョット退席シテ
居ル間ニ御問ニナツタコトニ付イテ私モ一ツ伺ヒタイ、第十條ニ組合員ノ數ヲ
限定スルコトヲ得ス」トアリマス、然ルニ第七條ニ「七人以上ニ非サレハ之
ヲ設立スルコトヲ得ス」ト斯ク限ッテ居ル、七人以上ナレバ無論ドレ程デモ宜
イ筈デアアルノニ、ツレニ特ニ第十條ニ斯様ナ文章ヲ書イテアルト云フコトニ
付イテ、是ハ信用組合其他ノ産業組合ハ總テ名義ノ多イ程宜イカラ、七人以
上ニ非ザレバ之ヲ設立スルコトヲ得ズトシテアルノカ、成程ツレハ尤モト思
ヒマスガ、ツレハヤハリ組合ノ中デ限定シタ方ガ是ナリト考ヘテ、何人ハ出
テ往カヌ其他ニ限ツタ時分ニハ信用スル者ダケ入レル、其他ノ者ヲ入レルト
却ッテ不都合トナルト云フ考デ、斯ウシタノデアアルカドウ云フ事柄デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、此組合員ノ加入及ビ脱退ニ關
スル規定ハ、定款ニ極メネバナラヌデスソコデ、加入ノ條件脱退ノ條件ヲ定
款ニ於テ定メルコトハ差支ナイ、或ハ理事ノ決議ヲ經テ往クトカ、或ハ此總
會ノ——組合員ノ總會ノ決議ニ依テ、始メテ許ストカ云フコトノ條件ヲ加ヘ
ルコトハ差支ナイノデアリマスガ、併ナガラ元來此組合ノ員數ハ百人ニ限ル
トカ、或ハ五十人ニ限ルト云フコトヲシテ、再ビ他ノ同シ條件ノ下ニ居ル者
ガ組合員トラントスルノニ、定款ノ規定ニ依テドウシテモ組合員トナルコト
ヲ得ナイト云フコトデアルト、即チ組合員ノ數ヲ成ルベク多クアレバ、多イ
程組合ノ目的ヲ達スルト云フノガ精神ニ反スルノデアリマス、數ヲ限ルト云
フコトハ許サヌノデアリマスケレドモ、併ナガラ斯クノノ條件ヲ備ヘタ者
デナケレバ、組合員ニナレルト云フコトヲ得ズト云フ制限ヲ加ヘルト云フコ
トハ差支ナイ

○(平岡萬次郎君) 此九條ノヤハリ「區域以內ニ於テ」ト云フ所デゴザイマス
ガ、是デ分ッテ居ルヤウデスガ、信用組合ト云フモノハ市町村ノ區域内ニ於テ
之ヲ定メル、市町村ノ區域内ニ於テハ信用組合ヲ三ツ拵ヘテモ四ツ拵ヘテモ

第一ノ點ニ付イテ御答致シマスガ、固ヨリ此産
業組合ニ付イテハ本店支店ト云ハズニ、事務所ト云フ譯テ起ッテ居リマス、例
ヘバ第十三條ニ各事務所ノ所在地トアツテ、是ハ恰モ商事會社デ申セバ本店支
店ニ當ルノデアリマス、素ヨリ營業上或ハ事務ヲ執ル所ハ一箇所ニ限ルト云
フノデアハナイ、ツレデ此信用組合ニアラザル組合ニ付イテハ、區域ノ廣イコ
トヲ妨ゲナイノデ、或ハ設立者ノ見込ヲ以テ區域ヲ限レバ宜シイト云フコト

ツレハ地方長官ノ認可ヲ得之ヲ設立スルトキニハ認可ヲスル譯デスガ、認可スル
トカ認可セヌトカ云フコトハ格別トシテ、法律上三ツデモ四ツデモ同シ信
用組合ハ町村組合ニ於テ出來ル譯デスカ、又一ツヨリ出來ナイデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此點ニ付イテハ制限ハアリマセヌカラ、無論三
ツナリ四ツナリ設立スルコトガ出來ルノデアリマス、併シ極ク狹イ區域幾
ツモアレバ、結局共倒レト云フ結果ニナルカモ知レマセヌカラ、其點ハ第八
條ノ地方長官ガ總テノ事情ヲ斟酌シテ、或ハ合併スルコトガ宜イト云フコト
ヲ言フカモ知レヌ、ツレハ詰リ事務上ノ場合デアリマスガ、法律カラ見テハ
御話ノ通り幾ツアツテモ、ツレハ差支ナイノデアリマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 他ニ御質問ガゴザイマスカ、ゴザイマセヌケレ
バ第三章……

○(西谷金藏君) 三章ニ付イテチヨット御尋シマスガ「出資口數ハ十口ヲ超
ルコトヲ得ス」ト云フノハ、ドウ云フコトデ此處ニ御書キニナリマシタカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ其産業組合ヲ設立スル目的ガ素ヨリ金持
ノ團躰ヲ造ル積リデハナイノデス、素ヨリ其中ニ信用アル金持モ這入ラナク
ハ信用ヲ保ツコトモ出來ヌガ、併ナガラ其金持ト雖トモ一度組合員ニナツタ
上ハ、先ヅ他ノ金ノナイ所ノ組合員ト同シヤウナ位置ニ立ツコトヲ望ムデ居
ル、ツレデ若シ此口數ノ制限ガアリマセヌト、此資産家ガ組合員ニナツテ、或ハ
非常ニ澤山金ヲ出シテ居ルタメニ、利益ノ分配ヲ餘計取ルカ、或ハ又組合
ニ於テ大ナル權利ヲ行フコト云フコトデアリマスガ、産、中産以下ノ者ヲ保護ス
ルト云フ産業組合ガ、却ツテ其組合ノ一部ノ利益ヲ壟斷セラル、ト云フ結果
ニナラヌトモ保證ガ出來ヌノデアリマス、ツレデ成ルベク財産上ノ勢力ヲ組合
内ニ於テ行フコトヲ許サヌト云フ精神デ、此口數ニ制限ヲシタノデアリマ
ス

○(平岡萬次郎君) 此十八條ノ「組合員ニハ組合ニ拂込ムベキ出資額ニ付キ
相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス」トアリマスガ、是ハ特例ノヤウデス
ガ、ドウ云フ譯デ斯ノ如ク規定ヲ設ケラレマシタカ、其精神ヲ伺ヒタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答ヲ致シマスガ、是ハ此場合ヲ想像シマス
レバ、詰リ此組合員ガ組合ニ對シテ權利ヲ持ツテ居ル、或ハ金ヲ貸シタト云フ
場合モアルカモ知レマセヌ、ツコデ組合員ハ又組合員ニ對シテ出資額ヲ拂込
ムベキ義務ヲ持ツテ居ル、ツレデ御承知ノ通り民法ノ規定ニ依レバ、若シ組合
員ノ組合ニ對スル權利ハ、金ヲ出資額ヲ金ヲ拂フト云ヘバ、目的ガ一ツニナ
テ相殺ヲナシ得ベキ條々ニアルノデス、併ナガラ若シ相殺ヲ以テ對抗スルコ
トニナリマス、萬一ノ場合デハ其相殺ヲ以テ對抗スル組合員ダケガ、恰モ他ノ
組合員ニ先立ツテ優先權ヲ失フヤウナ結果ニナルノデス、ツレハ拂込ム方ハ組
合員トシテ拂フ、取ル方ハ債權者トシテ取ル、此二ツノ資格ヲ混同シテ相殺
スルコトニナルト、拂込ムベキモノヲ拂ツテ後ハ債權者トシテ分配ヲ受ケレバ
全額ヲ取ルヤウニナルカラ、其結果相殺者ト外ノ債權者ガ同等ニ分配ニ與カ

ルベキ筈デアルノニ、其組合員ダケ全額ノ分配ヲ受ケルヤウニナルカラ、優
等ノ地位ニ立ツコトヲ防グト云フ精神ヲ以テ本條ヲ設ケタノデアリマス

○(金岡又左衛門君) 二十條ニ組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ズトアリマ
スガ、共有スルト何カ弊害ガアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ深イ理由ハ別ニナイ、持分ト申シタ所デ法
律ニ見テアル場合ハ、出資ノ金額ハ餘リ大キクナイ、ツレデ其小サイタツタ
一口ノモノヲ數人デ持ツト云フト、第一金額ガ非常ニ多クナレバ、共有モ事
實上必要デアアルカモ知レマセヌガ、併シ産業組合ニ出資ノ金額ハ僅カナモ
デアルカラ、共有ヲ認メル必要モナイ、又之ヲ認メルトナルトイロノナ面
倒ガ起ルト云フモノハ、組合員トシテ權利ヲ行フ場合ニ付イテモ、三人ナラ
三人デ一ツノ持分ヲ持ツテ居ル場合ニ、總會ヲ開クトキニドノ組合員ガ出
來テ權利ヲ行フカヲ極メナケレバナラヌ、又共有者ガ組合ニ對シテ出資ヲ拂
ハナケレバナラヌ場合ニハ、數人ガ連帶シテ拂フカ或ハ分割シテ銘々拂ヘバ
宜シイカト云フ規定モ設ケナケレバナラヌ必要ガアル、サウ云フ面倒ガアツ
モ共有ヲ認メナケレバナラヌト云フ必要ガアルナラバ、相當ノ規定ヲ設ケル
ノガ至當デアリマスガ、モトノ僅カナモノデアアルカラ、是ヲ認メル必要ハ
ナイト云フノデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデアリマス

○(原田越城君) 唯今ノ所ハ分リマシタカ、所ガ例ヘバ出資ノ一口ガ拾圓ト
スル、其トキニ五圓ツツ二人ガ出シ合セテ、サウシテ甲ト云フ一人ガ自分デ
一口ヲ持ツテ居ルト云フ場合ハ、是ハ裏面ノ話デアアルカラ是ハ勿論法律ハ問ハ
ヌノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ツマル所組合ニ對シテ自分ハ組合員デアルト云
フコトヲ主張スル場合デスガ、内側テ他ノ者ガ或ル人ニ代ツテ金ヲ拂ツテ呉レ
ルノハ妨ゲナイノデアリマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 第四章ニ移リマス

○(有村連君) 第二十六條ニ「理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年
トス」トアリマスガ、此區別ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ株式會社ニ於キマシテ取締役ガ三年、監査
役ガ一年ト區別ヲ設ケタノト同一ノ理由デアリマシテ、元ト理事ハ組合員代
表シテ外ニ對シテ取引ヲ爲ス義務ガアリ内側テハ全權ヲ以テ業務ヲ行フモノ
デアリマス、ツレカラ監事ノ職務ハ如何ト云フト、監事ノ職務ハ三十四條デ
民法ノ規定ヲ準用シテアリマスカラ、其職務ハ法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スル
コト、理事ノ事務ノ狀況ヲ監査スルコト、其他尙三ツ四ツアリマスガ、理事
ハ要スルニ執行機關デアアル、監事ハ監督機關デアアルカラ、其監督機關ト執行
機關ハ成ルベク相押レヌヤウニセヌト、監事ノ職務ガ務マラス、ツレデ一
ニ選バレテ三年同シヤウニ其職ニ在ツテ、又選ブト云フト今申シマシタ通り、
監事ノ職務ヲ充分ニ行フコトハ場合ニ依ツテハ出來ナイカラ、年限ヲ變ヘタ方
ガ宜シイ、ツレデ理事ノ方ハ三年監事ハ一年トシタノデアリマス、ツレカラ

理事ノ方ハ何故ニ三年トシタカト云フト、一年間理事ニナラズ直グニ罷メ、又タ新ナ者ヲ選ブトスルト、慣レナイ者ガ理事ニナラズ事務ガ擧ラヌカラ、是ハ少シ長クシタノデアリマス、監事ハ唯監査スルニ止マルモノデアリマスカラ、理事ノ任期ニ比スレバ短クテモ宜シイト云フノデ、一年トシタノデアリマス、固ヨリ此三年ト云フコトハ是非三年ヲ四年ニシテハナラヌ、一年ヲ二年ニシテハナラヌト云フホドノ、キツパリシタ理由ハアリマセヌガ、大體是レナラバ長クモ短クモナイト云フノデ、斯ウ極メタノデアリマス

○(西谷金藏君) 理事トカ監事トカ云フモノハ、人員ハ制限ガナイヤウデスガ、理事ノ中カラ理事長ト云フヤウナモノヲ置クコトハ出來マスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 理事ノ人數並監事ノ人數ハ固ヨリ數ニ限リハアリマセヌカラ、理事ヲ三人選ンデ理事長ヲ其中カラ置クトカ、或ハ事務理事ヲ置クコトハ内側ノコトデ差支ヘナイノデアリマス

○(木村哲太郎君) 二十六條ニ付イテ御尋子致シマスガ、理事ノ任期監事ノ任期ヲ茲デ定メテ置キナガラ、但書ヲ見ルト定款ニ一任シテアルヤウデアリマス、斯ウ書キマスルト詰リ理事ノ任期ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムト云フノト同一ニナルヤウニ思ヒマスガ、又二十八條モ其通りデアリマスガ、是ハ茲ニ法律デ任期ヲ定メナガラ、但書デ定款ニ任カシテシマウノハ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 但書ノ書キ方カラ申シマス、定款ニ別段ノ定メサヘスレバ、理事ヲ二十年監事ヲ十年トシテモ——極端ノ例ヲ取リマスレバ、サウ云フコトニシテモ法律ニ違背スルコトハナイ、併ナガラ法律ニ規定スル所ハ、此邊ナレバ穩當デアラウト云フコトヲ見テ定メタノデアリマスカラ、先ヅ理事ハ三年ガ宜カラウ監事ハ一年ガ宜カラウト云フ趣意デ、斯ウ定メタノデアリマシテ、其趣意ト云フモノハ、詰リ定款モヤハリ認可ヲ請ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、餘リ理事ノ任期ヲ三年トシ、監事ノ任期ヲ三年トスルコトデアリマスレバ、普通ノ場合ヲ想像シタ二年一年ノ區別ノ精神ニ反シマスカラ、縱令監事ノ任期ヲ一年半トスルヤウナ規定ヲ定款ガ宜イトスレバ、ソレヲドウシテモナラナイ禁ズル程ノ必要ハナカラウト思ヒマス、依ッテ定款デ定メルコトヲ許シタノデアリマスガ、先ヅ精神ハ理事ト監事ノ任期ハ各區別ガアルト云フ精神デ以テ、此定款ノ許可ヲシテ往カナケレバナラヌノデアリマス、第二十八條ニ就イテモヤハリ同様デアリマス「總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス」ト云フ、組合員ノ少ナイ場合デアリマスレバ、半數以上デ出來マスケレドモ、併ナガラ組合員ノ數ガ非常ニ多クナタ場合ニハ、此規定デ少シモ自由ヲ許サヌト云フコトニナリマス、出席者ガ半數ニ滿タヌ時分ニハ、何時デモ議決ガ出來ヌ、ソレデ原則トシテハ半數以上出席シテ議決スル、併ナガラ其組合ノ組織其組合員ノ數カラ見テ、ドウシテモ運用ガ付カヌトキハ、何トカ避ケル道ヲ明ケテ置カヌト、實際動クコトガ出來ヌコトニナリマスカラ、但書ヲ加ヘマシタ

○(西谷金藏君) 此四十七條デゴザイマスガ、「組合ノ事業年度ハ一箇年トス」他ノ商業會社デハ二期ニシテ居ルヤウニ思ヒマスガ、是ヲ斯ウ云フ風ニセラレタノハ何カ理由ガアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話通り營業會社ニアツテハ、計算ヲ二度ツツスルコトガ普通ニナツテ居リマス、先ヅ第一ハ此商會社ト云フモノハ、營利ヲ目的トスルモノデ、合名會社ニアツテモ西洋ノ合名會社ト違ヒマシテ、成ルベク利益ノ配當ヲ希望スルノデアリマス、株式會社ニアツテモ成ルベク會社ノ配當ノ多イコトヲ希望シテ居リマス、ソレデ私共ノ考デハ普通ノ商會社ト雖モ、ヤハリ決算ハ一年トスルガ宜カラウト云フ考デアリマスケレドモ、併シ何分以前カラ二期ニ決算ヲスルコトニナツテ居リマスカラ、俄ニ一年ニセネバナラヌト云フコトヲ規定スルノハ少シク嚴ニ失スルデアラウト云フ所カラ、ヤハリ商法ニハ二期ニシマシタ、併シ產業組合ノ如キハ剩餘金ノ分配ト云フコトガ素ヨリアリマスケレドモ、併シ元來ガ營利ヲ目的トスルモノデナシ、又縱令剩餘金ガアツテモ成ルベク組合員ニ分ケナイヤウニシテ、組合ノ方ニ積立ルコトニスル方ガ宜シイト云フノ精神デアリマスカラ、ソレデ商會社ニアツテ二期ニ計算ヲスルモノデモ、產業組合ニ於テハ成ルベク剩餘金ハ分配セヌヤウニ、剩餘金ハ組合ニ積立ツテ置クヤウニト云フ精神カラ、斯ウ云フ風ニナリマシタ

○(平岡萬次郎君) 三十二條ニ就イテ伺ヒマスガ、民法第四十四條第一項ガ適用シテアリマス、是ニ準用スルコトニナツテ居リマスガ、ソレハ「法人ハ理事其他ノ代理人ガ職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責任ニ任ス」民法ノ方ノ法人ニナリマス、第二項ヲ設ケ「法人ノ目的ノ範圍ニ在ラサル行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其事項ノ議決ヲ贊成シタル社員理事及ヒ之ヲ履行シタル理事其他代理人連帶シテ其賠償ノ責任ニ任ス」此二項モ宜シク準用スベキ規定ト考ヘマスガ、一項丈ヲ準用シテ二項ヲ準用セラレナカッタ理由ハ、ドウ云フ譯デアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話ノ通り、民法ノ第四十四條二項ニアリマシテハ、決議ト云フコトヲ社團法人ニアツテ總會ニ於テ決議スル、其決議ガ即チ其目的ノ範圍外ニアラザルノ行爲ヲ爲スノ決議、其場合ニ其決議ニ贊成シタル者、之ヲ實行シタル者ニ、賠償ノ責任ヲ負ハセルガ宜イカ惡イカト云フコトハ、一ノ立法上ノ問題デアルト考ヘマス、私共ノ考デハ此社團法人ト云フモノニアツテ、總會ノ決議デ無法ノコトヲ決議シマシテモ、其決議ガ即チ社團法人ノ決議デアツテ、内部ニ於テ如何ナル社員ガ其決議ニ贊成シタ反對シタト云フコトハ問フベキモノデナイ、偶々其決議ガ定款ニ違背ノ行爲デアツテ、理事ガ其決議ニ從ツテ事務ヲ執ル上ニ於テ、不法ノモノデアラナラバ實行セザルガ理事ノ職務デアアル、然ルニモ拘ラズ其不法ヲ知ツテ其決議ヲ遵奉シテ、定款ニ違背ノ行爲ヲシタナラバ、理事一人賠償ノ責任ニ任シテ宜シイノデ、内部ニ於テ贊成スルトカセヌトカ云フコトハ、問フベキモノデナイト云フ考デア

リマス

○(平岡萬次郎君) 私ノ考デ見マスルト云フト、此理事若クハ監事即チ産業組合ノ役員ノ責任ト云フモノヲ重クシナケレバナラヌ、ドシナ不都合ヲヤルカモ分ラヌト云フノデ、ソレデ以テ旨ク運用サセテ往カウト云フ考ヲ以テ居ル、殊ニ民法ニモ規定シテアル、此條項ニ付イテハ成程議論ノアル點デアリマスケレドモ、民法四十四條ノ第二項ノ規定ヲ法律ガ設ケタト云フモノハ、異例ヲ作ルニ付イテ極ク適中シタ宜イ規定ガ設ケラレタト考ヘル、ソレデ民法ニ從テ設立シタ會社ヨリモ、モツト十分ニ監督ヲセヌナラヌト考ヘル、此産業組合ニ於テ此四十四條ノ第二項ヲ省カレタト云フコトハ、非常ニ遺憾ニ考ヘマスルガ、是ハ修正ニナリマスカラ、修正ノトキニ申シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御意見ナラバ格別デアリマスガ、御參考マデニ……

○(野田卯太郎君) 他ノ組合ト云フノハヤハリ此法律ノ組合ヲ指スノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) サウデス、ソレカラ平岡君ノ御意見ニ付イテ御參考迄ニチヨット申シマス、商法ニ於テハ御承知ノ通り、民法ノ法人ニ關スル規定ニ依リテ居リマセヌ、ソレデ商法ノ第七十七條デ以テ「取締役カ法令又ハ定款ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ株主總會ノ決議ニヨリタル場合ト雖モ第三者ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス」ト規定シテアル、取締役ガ實行シタル責任ヲ帶ビテヤツテ、株主總會ニ於テ其決議ニ贊成シタルカ或ハ贊成セヌトカ云フコトハ、一昧採ラヌノデ、又六十一條ニ於テハ民法ト違フテヤハリ監督ハ規定ガアリマシテ、監督ノ規定中ニ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消ス云々ト云フノデ、其制裁モアルノデアリマスカラ、ソレデ議論ニ於テモ私一人ハ贊成セヌト云フ……

○(平岡萬次郎君) 此商法ノ規定ト民法ノ規定トハ、自ラ商法ト民法トノ性質ノ異ルダケニ違フ譯デアリマス、デ産業組合ノ如キハ民法ニ設ケタ所ノ組合ノ性質ト稍、似寄ツタモノデアリマス、ダカラシテ民法ニ規定シタ所ノ規定ヲ多ク準用シテアル、ソレデ成程地方長官ヲ以テソレヨリ以下ノ郡長トカ村長トカ云フ、斯ノ如キ者ノ過ハナイトカ云フナレバ、此條項ヲ適用スルコトハナイノデアリマスガ、併シ澤山ナ事項ヲ處斷スル内ニ間違ハナイトハ言ヘナイ、其間違ガアツタ時ニハ是非斯ノ如ク此民法ノ法人ニ稍、似寄ツタモノノ取締リデナイ規定、即チ責任其事ヲ實行シタイ、其責任ト同シヤウニサセテ於テ、重ク責任ヲ感シテ誠心誠意此事項ヲ處斷スルト云フコトニシタ方ガ宜カラウ、理窟ガ合ッテモ合ハナクツテモ、法律ハサウ致シタイノデアリマス、今日此法ヲ實施シテモ甘ク運用スルト云フコトガ出來マスマイ、既ニ私共ハサウ信ズル譯デアリマスガ、最モ性質ノ變ツタ所ノ商法ノ例ニ依ラレテ、似寄ツタ所ノ法人——此民法中ノ法人ト云フ方ニ依ラレナイト云フコトハ、ドウモ疑ノ存スル點デアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御意見デアリマスナラバ、其議論ノコトハ第二

○(西谷金藏君) 「此三十七條ノ末項ニ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ」トアル、是ハ多ク場合ハ委任狀トカナントカ云フコトデゴザイマセウガ、サウ云フ手續ハ各個ニ是ヲ書面ニ持ヘルニデアリマスガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ組合人ト云フモノガ成年者デアリマス、

讀會ニシマシテ、大體私ハ商法ニ真似テ之レヲ設ケタト云フノデアリマセヌノデ、商法ニ斯ウ云フ例モアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソコデ民法ノ規定ヲ多ク準用シタト云フ御話デアリマシタガ、成程民法ノ規定ヲ準用シテアリマスガ、ソレハ理論上ノコトデアリマスカラ、假リニ民法ノ規定ニ依ラズシテ、商法ノ規定ヲ準用シテ此法案ヲ立ツテ同シヤウナモノガ出來マシタケレドモ、民法ノ法人ニ近イカラト云フテモ、民法ヲ準用シタノデナクテ、寧ロ立法上ノ便利ヲ得ルタメニ、民法ノ規定ヲ準用シタダデアリマス

○(金岡又左衛門君) 此理事及ビ監事ノ選任ニ付キマシテハ、二十五條ニアリマシテ「會員中ヨリ之ヲ選任ス」トアリマスガ、其選舉ノ手續ハ二十八條ニ「理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之レヲ決ス」トアル、然ルニ此二十七條ニ於テ「理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ解任スルコトヲ得」トアル、サウスルト中途ニシテ理事及監事ヲ解任スルコトハ、是レハ容易ナラヌコトデ、理事其人ノ名譽ニモ關係シマスルコトデ、甚ダコレハ事態ノ穩カナラヌ場合デアアル然ルニ普通ニ唯理事及幹事ヲ選任スル場合ニハ、半數以上ノ出席即チ四分ノ三ノ數ヲ以テ是ヲ定ムルト云フノハ、其人ノ職務ヲ剝奪スルト云フ場合ニモ、同シ數ヲ以テ是レヲ決スルコト云フコトハ、少シ此間ニハ輕重ノ差ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、是ハ如何ナル譯デ同一ノコトニナツテ居ルノデアルカヲ御尋シタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、先刻平岡君カラモ御意見ガアリマシタガ、産業組合ト云フモノノ事業ノ舉ルカ舉ラヌト云フコトハ、理事ナル者ガ主トシテ其人ヲ得ルカ得ナイカト云フコトニナル、ソコデ極ク少數ノ人カラ選バレタ所ノ理事ト云フモノハ、寧ロ多數ノ人ノ希望デ選バレタ所ノ理事ヨリハ、大體ニ於テ先ツ比較的不適任ト申サナケレバナラヌ、詰リ理事トナツテ産業組合ノ事業ヲ施行シマスル機關働キヲ爲スニ付イテハ、成ルベク人望ノ多イ人デアアルト云フコトヲ希望スルノデアリマス、故ニ御話ノ通り二十八條ノ規定ヲ以テ原則トシテハ、可ナリ其決議權ノ多イ者カラ選バレタ者デナケレバナラヌ、又理事ヲ解任スルコト云フコトニ付イテモ、御話ノ通り頗ル重大ナコトデアリマスガ、重大ナルガ故ニ又其解任ニ付イテモ、特別ノ重イ決議ノ方法ヲ設ケタノデ、選ブニモ重シ、解クニモ重イノデアツテ、詰リ適當ノ理事ヲ得ルト云フコトニ付イテ、特別ノ決議ヲ必要トスルノ理由ハ、其理事ヲ解クニ付イテハ又特別ノ決議ガ必要デアツテ、決シテ其間ニハ輕重ノ説ハナイト認メマス

○(西谷金藏君) 「此三十七條ノ末項ニ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ」トアル、是ハ多ク場合ハ委任狀トカナントカ云フコトデゴザイマセウガ、サウ云フ手續ハ各個ニ是ヲ書面ニ持ヘルニデアリマスガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ組合人ト云フモノガ成年者デアリマス、

○(西谷金藏君) 「此三十七條ノ末項ニ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ」トアル、是ハ多ク場合ハ委任狀トカナントカ云フコトデゴザイマセウガ、サウ云フ手續ハ各個ニ是ヲ書面ニ持ヘルニデアリマスガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ組合人ト云フモノガ成年者デアリマス、

無論其者ノ委任ヲ以テ代理ハ出來ルガ、組合人ガ未成年者デアルトカ云フヤ
ウナ場合デアリマス、民法ノ規定ニ依ルト法定代理人……後見人ガ出ル、代
理人デアアルノデアリマス、ダカラ之ハ委任トハ言ヘナイノデアリマス、即チ後
見人ノヤウナモノガ出テ來テ、此決議權ヲ行フウト云フ場合ニモ、雙方ニモ
箴マルヤウナ文字ヲモツテ、三十七條ノ代理人ヲ定メタノデ、委任狀ト云フト
法定代理人ハ這入ラナイノデアリマス、自身ガ後見人デアッテモヤハリ其證ニ
書面ヲ持ッテ來ナケレバナラヌノデアリマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 次ハ第五章ニ移リマス——五章ハ御尋ノハアリ
マセヌカ——次ハ第六章

○(有村連君) 第五十九條ノ「産業組合ハ主務大臣地方長官及郡長之ヲ監督
ス」トアリマス、主務大臣ノ監督ト云フ場合ト、地方長官ニ於テ監督スル場合
トノ區別ガアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 實際ニ於テ法律上斯ク々々ノ事ハ農商務省ガ監
督シナケレバナラヌ、斯ク々々ノコトハ地方長官ガ監督シナケレバナラヌト
云フ區別ハシテアリマセヌ、先ヅ普通ナ些細ナコトデアリマスレバ、地方長
官ガ監督スル、ソレデ詰リ監督長官ハ主務大臣ニスルトカ、或ハ地方長官ニ
スルト限ルト云フコトデハ、實際ニ不便デアリマスカラ、事實ノ運用カラ言
ヒマスルト、事柄ノ輕重ニ依ッテ或ハ郡長ニ委任シ能ハザルモノハ、地方長官
ニ委任スルト云フノデアリマス

○(平岡萬次郎君) 此取締法ニ付キマシテハ、固ヨリ内部ニ於テ規定モ出來
マスルコトト思ヒマス、果シテサウデアリマスカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、
ソレカラ是迄ノ會社若クハ銀行ハヤハリ主務大臣若クハ地方長官ガ監督シテ
居リマスケレドモ、名アッデ實ナク各銀行ノ大藏省カラ検査ヲスルト云フコト
ニ見テモ、ソレデ以テ十分分ッテ居ル話デアリマスガ、此監督モアト同様ナコ
トナラバ、此監督ノ條項ハ總テ空文ニ屬スルモノデアリマスガ、此監督ノ仕
方ニ付イテハ、如何ナル方法ヲ以テ御ヤリニナル考デアルト云フコトヲ伺ヒ
タイ、ソレデナイト云フトドウモ各地ノ産業組合ト云フモホハ、非常ニ澤山
勃興シタガ、又將某例シニ倒レタト云フコトガ起リハセヌカト云フコトヲ憂
ヒマスカラ、此點ヲ伺ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 今特ニ此監督ヲ執行スルニ付イテ、斯ク々々ノ
省令ヲ發スルノデアアル、或ハ斯ク々々ノ訓令ヲ發スルノデアルト云フコトヲ、
法律ノ上ニハ見テ居リマセヌ、併ナガラ或ハ例ヘバ農商務省ノ監督ニ屬スル
所ノ産業組合ニアツテハ、或ハ地方長官ハ斯ク々々ノ事ヲセヨ、或ハ郡長ハ斯
ク云フ場合ニ斯ウ云フコトヲセヨト云フコトハ、或ハ訓令ヲ以テ示ス必要ガ
アラウカト思ヒマス、監督ノコトニ付キマシテハ、御話ノ大藏省ノ銀行ノ監督
ノ如キハ、或ハナイトモ言ヘヌヤウナ事實ガアルカト想像スルノデアリマ
スガ、詰リ銀行ノ事業ハ營利デアアル、銀行ハ成ルベク利益ノ多カラント云フコトヲ希
望スルノデアアル、検査ハ成ルベク検査ノ出來ル範圍内デ避ケルト云フコト

ハ、或ハ銀行家トシテハ事實ヤラネバナラヌト云フヤウナ困難ガアルカモ知
レマセヌ、産業組合ニ付イテハ左程ノ必要モナイノデアリマシテ、監督ト云ッ
タ所デ一通リ組合ノ目的ヲ離レナイ、範圍内ニ於テ、此法律ノ規定ニ依テ猥
リニ監督權ヲ行フト云フコトハ、先ヅ事實ニ於テハナイ、唯言ヘバ世話ヲス
ルト云フ側デ、小サイ組合ニ付イテスル位デアリマス

○(西谷金藏君) 此五十九條ノ監督スル場合ガ數郡ニ互ル場合ニハ、ドウ云
フ譯ニナルノデアリマスカ、若シサウ云フコトガアツタキニ、市町村ノ組合
ノヤウニ、幾條ニ設ケテアリマス如クニシテヤルノデアリマスカ、尙數郡ニ
互ルコトガ出來ナイトモ云ヘナイガ、サウ云フ場合ニハドウナリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第五十九條ノ規定ハ、總テ主務大臣若クハ地方
長官及郡長ノ監督機關デアルト云フコトヲ規定シタノデアアル、御話シノヤウ
ニ或ハ雙方ヲ組合シテ數郡ニ跨ッテ居ルト云フ場合ニハ、詰リ其内ノ地方長官
ニ主務大臣ヨリ監督ヲ命ズルコトニナル

○(西谷金藏君) 其場合ニ主務大臣ガ監督スルコトガ出來ナイカ
○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ五十九條ノ規定ヲ動ス上ニ付キマシテ、
唯五十九條ニ定ムル所ハ是レノモノガ監督スル機關デアルト云フコトデアリ
マス、唯今ドナタカノ御質問ノ通り、監督ヲ行フニ或ハ郡長ニ付イテハ斯ウ
云フ場合ニ斯ウセヨ、或ハ之ヲ監督スルニ付イテハ、地方長官ハ斯ウ云フコ
トヲシナケレバナラヌトカ、或ハ主務大臣ニ斯ウ云フ事ハ伺ハナケレバナラ
ヌト云フガ必要デアリマスレバ、何トカ極メナケレバナラヌ

○(西谷金藏君) ソレハ勅令ニデモ規定ヲナサル積リデアリマスカ
○政府委員(岡野敬次郎君) 勅令ヲ待タヌデ、或ハ省令ヲ以テヤルトカ、或
ハ訓令ヲ以テ命ズルコトガ出來ルト思ヒマス

○(木村哲太郎君) 第五十條ニ豫告ヲ爲スト云フコトガアツテ、第二項ニ於キ
マシテ、豫告期間ハ定款ヲ以テ延長スルコトヲ得トアリマシテ、是ハ六箇月
ヨリ延バスコトハ出來ルガ、縮メルコトハ出來ヌト云フ精神デアリマセウカ

○政府委員(和田彦次郎君) 仰ッシャル通デアリマス、縮メルコトハ往カヌ
○(青木正太郎君) チョット政府委員ニ御尋ネシマスガ、五十九條ノ監督權ニ
付イテ西谷君ノ御尋ネガアリマシタガ、全體數郡ニ互ル場合ハ地方長官ガ監
督スルヨリ仕方ガナイト言ハレマシタ、其例ヲ逐フテ言ヒマス、例ヘバ地
方長官ガ斯ウ云フ場合ニスル斯ウ云フ場合ニ、主務大臣ガ監督スルト云フ御
答ガ判然致サヌヤウデアリマスガ

○政府委員(岡野敬次郎君) 何レ此五十九條ハ、唯原則トシテ是ダケノモノ
ガ監督機關デアルト云フコトヲ定メラレタニ過ギナイト云フコトハ、前ニ御
答ヘ致シマシタ、ソレニ付イテ御話ノヤウニ、或ハ數郡或ハ數町村ニ互ラン
トスル場合ニハ、監督規定ト云フモノヲ設ケル必要ガアルカモ知レマセヌガ
ソレハ監督ヲスルニ斯ウ云フ場合ニ、斯ウ云フヤウナ監督ヲスルト云フコト
ヲ定メルニハ妨ゲナイ、ソレハ五十九條ノ規定ニ依テ主務大臣ガスルトカ、

或ハ地方長官ガスト云フコトヲ……

○(平岡萬次郎君) 唯今政府委員ノ御答アリマシタガ、起草者ノ方デサウ

云フ御意見デアアルカモ知レマセヌガ、私共此法律ヲ誤解セラレテ居ルと思フ、

斯ウ文章ガ出来タ以上ハサウハ解釋ハ出来ナイト云フノハ、トツカニ事務所所

在地ノ地方長官ニ差出スベシトアル、事務所所在地ノ市町村長郡長ツレカラ

ズット上ニ行クモノト解釋シテ、總テ是迄ノ監督ガサウナッテ居リマスカラ、是

モ特種ノ意味デナイト信ジマスカ、尙政府委員ノ答辯ハ間違ヒナイカドウカ

伺ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話ニナッテハ、第三條デスカ、是ハ單ニ監督ト

云フガタメニ設ケテ規定デハナイノデ、第八條ニ於テモ必ズシモ法律上直チ

ニ監督廳ニ差出サナケレバナラヌト云フ理由ハアルマイト思フ

○委員長(鹽田忠左衛門君) 第七章ニ移リマス——御質問ガナケレバ次ハ第

八章——是レモ御質問ガアリマセヌカラ、次ハ第九章

○(平岡萬次郎君) 七十六條ノ罰ハ輕イヤウニ思フ、第一項ノ如キ不正ノ登

記ヲナシタトキ、第二項ノ不實ノ申立ヲナシ事實ヲ隱蔽スルト云フ如キハ、

殆ド詐欺取財ニ相當テ居ルヤウナコトガアラウ、又検査ヲ拒ミ廣告ヲナスコ

トヲ怠リ、不正ノ廣告ヲスルト云フ不都合ナコトヲヤルモノヲ、二十五圓以

上三百圓以下位デハ取締ガ付キ惡クカラウト思ヒマスカ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 精細ナコトハ人々ノ考デ、一人ガ重イト云フモ

ノヲ一人ハ輕イト思フコトモアリマスカ、是ハ要スルニ民法八十四條ニ於テ、

法人ガ主務官廳若クハ裁判所ノ検査ヲ妨ゲ又ハ不實ノ申立ヲナシタトキニ

ハ、四圓以上二百圓以下ノ科料ニ處ストナッテ居ル、而シテ商法ニ餘程重ク

ナッテ居ルノハ、サウ云フコトヲ仕兼ヌ恐レガアルカラデ、民法ハ公益法人デ

自然サウ云フ場合ガアルマイト云フ所カラ輕クシテアリマス、又禁錮等ノ刑

ヲ要スルコトモアルカ知リマセヌガ、其等ハ民法商法トモ同ジデアリマスカ

ラ、共通ノ刑罰ノコトハ刑法ニ讓ルト云フノデ、民法デモ商法デモ刑罰ノ規

定ハ設ケマセヌ、從ッテ今御話ノヤウナ刑ノ必要ナ場合モアリマセウガ、ツレ

ハ此産業組合法ニミ特別ナモノデハアリマセヌノデ、刑法ニ讓ルコトニシ

テアリマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 次ハ附則

○(西谷金藏君) 施行ノ期限ハ勅令ニ讓ルトシテアリマスカ、當局者ハ凡ソ

御意見ガ定ッテ居リマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此法律ヲ施行スルニ付イテハ、或ハ省令或ハ命

令ヲ以テ定ムル都合ガ澤山アラウト思フ、其準備ノ都合ガアリマスカ、今

カラ何日カラト云フコトハ申セマセヌガ、一日モ早ク實施シタイ希望デアリ

此法案バカリ其豫定ガ出来ヌト云フノハ餘リ迂濶デハアリマスカ、又是

レハ全國同時ニ施行ニナリマセウト思ヒマスカ、或場合ニハ北海道ト云フヤ

ウナ所ハ期限ヲ異ニスルコトガアリマセウカ、ツレヲ御尋致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 施行期日ニ付イテ御答致シマス、御承知ノ通り

此議會ニ提出致シマシタ法案モ、數多クアリマスカ、其法案ヲ施行スル上ニ於

テ勅令省令ヲ必要トスルモノガ數多クゴザイマス、最モ此勅令省令ヲ發シテ

施行スル準備ノ成ッテ居ルモノモアリ、又凡ソノ考ダケハ付イテ居ッテマダ認

メテナイモノモアル、ツレ等ノ詰リ準備ノタメニ施行期日ヲ自由ニシテ置ク

ト云フダケノ話デアアル、併ナガラ唯何日カラト云フコトハキチント極メルト

云フコトハ窮窟デアリマスカ、固ヨリ其準備ヲ爲スコトハ怠ラヌデアリマ

スカラ、先ヅ凡ソノ考ダケハ本年七月一日カ或ハ十月一日ニハ總テノ準備ガ出

來ヤウト思ヒマス、其頃カラ少ナクモ施行スル積リデゴザイマス

○(西谷金藏君) 同時ニ施行セザル地方ガアルカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ツレハ法律ニ特別ノ規定ガアリマセヌカラシ

テ、普通ニ是ハ施行致シマス、尙北海道ニ付キマシテハ内務省ノ委員ガ出席

サレテ居リマスカ

○政府委員(白仁武君) 北海道ノ規定ヲ勅令ヲ以テ此法律ノ除外例ヲ致サ

ウト云フノハ、サウタント格別ノ條項ガアルデアリマセヌケレドモ、御承知

ノ通りニ北海道ノ農業家ト云フモノハ、餘程府縣ノ農業家ト状態ガ違ッテ居

リマス、其違ッテ居リマス状態ハ重ニ府縣ニ於キマシテハ、農家ノ唯一ノ本尊

タル所ノ土地ガ、二千有餘年ノ耕作ヲ經來ツテ居リマスカラ、頗ル堅固ナ

モノデアリマスカレドモ、北海道ニ於キマシテハ唯今鋤ヲ入レテ農作地ト

ナシマシタ場處デアリマスカラ、是カラ先ノ土地ノ力ノ變化、土地ノ價格

ノ變化等ニ至リマシテモ、餘程注意ヲ要スル點ガアリマス、ツレ等ノ事情カ

重ニ北海道ノ農家ハ府縣ノ農家ト異ナルト云フ原因ニナリマスカ、ツレガ

タメニ農業家ガ組合ヲ起シマスカラ、ニ付キマシテモ、多少状態ヲ異ニセンケ

レバナリマセヌ、又監督ノ方法ニ至リマシテモ多少方法ヲ變ヘナケレバナリマ

セヌ、其上又御承知ノ通今日ノ北海道ノ行政機關ト云フモノモ、府縣ト違ッ

テ居リマスカラ、是等ノ規定モ多少違ヘナケレバナリマセヌ、又此組合ガ大

ニ利用セント欲スル所ノ農業家ノ銀行、即チ農工銀行ノ如キモノモ、北海道

ト府縣トハ多少銀行ノ様子モ變ッテ居リマスカラ、銀行ノ關係トモ又或ハ多

少ノ別ヲセネバナラヌカモ知レマセヌ、其他事項ヲ調べテ來マシタモノモア

リマスカレドモ、是等ヲ一々申上ゲルト繁雜ナコトデアリマスカ、大體

ノ内務省ノ意見ハ此勅令ヲ以テ除外例ヲ立テヤウト云フ意見モ、右申上ゲタ

通りデゴザイマス

○(加藤六藏君) 北海道ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ノデ云フト、特別ノ方ニ這入ッテ居ルモノガ多イノデゴザイマスカ、沖繩縣

ノ御話ハ分リマシタガ、沖繩縣或ハ伊豆七島ノ如キ

ハ分ケル必要ガナイト云フ御考デスカ、沖繩縣ノ如キハ北海道ヨリ尙他ノモ

ヤ伊豆七島ノ如キハ分ケヌデモ宜イト云フノデスカ
○政府委員(白仁武君) 分ケナクテモ宜イト云フ意見デゴザイマス、大概此
法律ノ本文ニ依リマンテ、法律ヲ實施シマスル所ノ省令ノ規定ノ範圍内デ變
ル位ノコトデ、大概納マリガ付ク積リデゴザイマス
○委員長(鹽田忠左衛門君) 是デ質問ハ終リマシタ、ドウカ明日ハ十二時カ
ラ御出頭ヲ願ヒマス、是デ今日ハ閉會致シマス
午後四時五十七分散會